astah*

リファレンスマニュアル　Ver 10.1

astah* Viewer

Copyright© 2018-2025 Change Vision, Inc. All rights reserved.

astah* リファレンスマニュアル

本書の内容は、予告なく変更されることがあります。

次に示す版権表示は、本書とともに提供されるソフトウェアにも適用されます。

Copyright© 2018-2025 Change Vision, Inc. All rights reserved.

astah は株式会社チェンジビジョンの登録商標です。
UML と Unified Modeling Language は、Object Management Group Inc.の商標または登録商標です。
Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
マインドマップは、英国 Buzan Organisation Ltd.の登録商標です。
他社およびその製品の呼称は、当該する会社が所有する商標を使用しています。これは、呼称以外の目的を持ちません。

なお、本文中では、™、®、©マークは省略しています。

はじめに

『astah*リファレンスマニュアル』では、ツールの機能と利用方法を説明しています。astah* Viewer は、astah* professional あるいは astah* UML にて作成されたファイルを閲覧するためのツールです。

本マニュアルの構成

- 1 章～3 章
  概要と起動方法を説明します。
- 4 章～6 章
  使用する上で必要な基本概念からメインメニューにある基本操作を説明します。
- 7 章～13 章
  基本操作を説明します。
- 14 章
  個々の図とそれぞれの図で扱う図要素を説明します。
- 15 章から 17 章
  システム設定や特徴的な機能を説明します。

本マニュアルの注意点

- FAQ よくある質問とその回答は、WEB 上（https://astah.change-vision.com/）の FAQ でご確認ください。

目次

astah* リファレンスマニュアル

1. astah*機能概要 1
1.1. 機能概要 1
1.2. macOS での機能制約 1
2. インストールとアプリケーションの起動 2
2.1. astah*のインストール 2
2.2. astah*の起動 2
2.3. astah*のモデルバージョン 2
3. プロジェクトファイルの閲覧 3
3.1. .asta ファイル 3
3.2. 既存のプロジェクトファイルを開く 3
4. 基本概念 4
4.1. 操作画面 4
4.2. 基本概念 5
5. メインメニュー 6
5.1. ファイル 6
5.2. 表示 6
5.3. ツール 8
5.4. ウィンドウ 8
5.5. ヘルプ 8
6. ツールバー 10
7. 構造ツリー 11
7.1. ツリーのノードを開く 11
7.2. 図を開く 11
7.3. フィルタリング 11
7.4. ダイアグラムエディタと同期する 12
7.5. 図要素へのジャンプ 12
7.6. 使用されている図のサムネイルを表示 12
8. 階層ツリー 13
8.1. 階層ツリーの機能 13
9. 図（一覧） 15
9.1. 図を開く 15
9.2. 構造ツリー上のモデルへジャンプ 15
10. 検索 16
10.1. [検索]タブ 16
10.2. 検索バー 17

目次

11．別名機能 19
11.1．　別名の表示 20
12．プロパティビュー 21
12.1．　プロパティの表示 21
12.2．　プロパティの構成 21
12.3．　プロジェクトのプロパティ 22
12.4．　クラス図のプロパティ 24
12.5．　クラスのプロパティ 25
12.6．　属性のプロパティ（クラス図） 30
12.7．　操作のプロパティ 32
12.8．　パラメタのプロパティ 35
12.9．　列挙型のプロパティ 36
12.10．パッケージのプロパティ 36
12.11．モデルのプロパティ 37
12.12．サブシステムのプロパティ 37
12.13．関連のプロパティ 37
12.14．汎化のプロパティ 39
12.15．実現のプロパティ 39
12.16．依存のプロパティ 39
12.17．テンプレートバインディングのプロパティ 39
12.18．インスタンス仕様（クラス図・配置図）のプロパティ 40
12.19．リンク（クラス図・配置図）のプロパティ 40
12.20．アクターのプロパティ 41
12.21．ユースケースのプロパティ 41
12.22．包含のプロパティ 43
12.23．拡張のプロパティ 43
12.24．ステートマシン図のプロパティ 43
12.25．状態のプロパティ 44
12.26．遷移（制御フロー・オブジェクトフロー）のプロパティ 46
12.27．サブマシン状態のプロパティ 47
12.28．スタブ状態のプロパティ 48
12.29．アクティビティ図のプロパティ 48
12.30．パーティションのプロパティ 49
12.31．アクションのプロパティ 49
12.32．振る舞い呼び出しアクションのプロパティ 50
12.33．フロー終了ノードのプロパティ 51

12.34. シグナル送信アクションのプロパティ 51
12.35. イベント受信アクションのプロパティ 51
12.36. 時間イベント受理アクションのプロパティ 51
12.37. ピン、オブジェクトノードのプロパティ 51
12.38. プロセスのプロパティ 53
12.39. コネクタのプロパティ 53
12.40. シーケンス図のプロパティ 53
12.41. ライフライン（シーケンス図/コミュニケーション図/タイミング図）のプロパティ 53
12.42. メッセージ（シーケンス図/タイミング図）のプロパティ 54
12.43. リプライメッセージのプロパティ 55
12.44. 複合フラグメントのプロパティ 55
12.45. 相互作用の利用のプロパティ 56
12.46. 状態不変式のプロパティ 56
12.47. コミュニケーション図のプロパティ 57
12.48. リンク（コミュニケーション図）のプロパティ 57
12.49. メッセージ（コミュニケーション図）のプロパティ 58
12.50. タイミング図のプロパティ 59
12.51. コンポーネント図／配置図のプロパティ 59
12.52. コンポーネントのプロパティ 60
12.53. パートのプロパティ 60
12.54. コネクタのプロパティ 60
12.55. ポートのプロパティ 61
12.56. 使用依存のプロパティ 62
12.57. 分類子のプロパティ 62
12.58. 成果物のプロパティ 62
12.59. ノードのプロパティ 63
12.60. ノードインスタンスのプロパティ 63
12.61. コンポーネントインスタンスのプロパティ 64
12.62. リンク（配置図）のプロパティ 64
12.63. 合成構造図のプロパティ 64
12.64. 構造化クラスのプロパティ 65
12.65. フローチャートのプロパティ 65
12.66. 遷移（フローチャート）のプロパティ 65
12.67. レーンのプロパティ 66
12.68. フロー記号（処理など）のプロパティ 66

12.69. データフロー図（DFD）のプロパティ 66
12.70. 外部エンティティのプロパティ 67
12.71. プロセスのプロパティ（データフロー図） 67
12.72. データストアのプロパティ 68
12.73. ER 図のプロパティ 68
12.74. ER モデルのプロパティ 69
12.75. ドメインモデルのプロパティ 69
12.76. ドメインのプロパティ 70
12.77. エンティティのプロパティ 71
12.78. 属性のプロパティ（ER 図） 73
12.79. リレーションシップのプロパティ（ER 図） 74
12.80. ER サブタイプのプロパティ 75
12.81. CRUD のプロパティ 76
12.82. マインドマップのプロパティ 76
12.83. トレーサビリティマップのプロパティ 77
12.84. 要求図のプロパティ 78
12.85. 要求テーブルのプロパティ 78
12.86. 要求のプロパティ 79
12.87. テストケースのプロパティ 80
12.88. ノートのプロパティ 81
13. 図の表示（ダイアグラムエディタ） 83
13.1. 図の表示 83
14. 図と図要素 85
14.1. クラス図 85
14.2. ユースケース図 87
14.3. ユースケース記述 89
14.4. ステートマシン図 91
14.5. アクティビティ図 92
14.6. シーケンス図 93
14.7. コミュニケーション図 94
14.8. タイミング図 94
14.9. コンポーネント図 94
14.10. 配置図 95
14.11. 合成構造図 96
14.12. フローチャート 98
14.13. データフロー図（DFD） 99

14.14. ER 図 99
14.15. CRUD 100
14.16. マインドマップ 100
14.17. 要求図 101
14.18. 要求テーブル 101
14.19. トレーサビリティマップ 102
14.20. 共通の図要素 103
15. ハイパーリンク 104
15.1. ハイパーリンクを開く 104
15.2. ハイパーリンクのリンク切れを検索する 104
16. キーバインドファイル 105
17. システムプロパティ 106
17.1. ファイル 106
17.2. プロジェクトビュー 106
17.3. ダイアグラムエディタ 107
17.4. ネットワーク 108
17.5. その他 109

1. astah*機能概要

1.1. 機能概要

astah* Viewer は、astah* professional または astah* UML にて作成されたファイルを閲覧するためのツールです。

- UML2.x に準拠した図の閲覧
  - シーケンス図、ステートマシン図、コミュニケーション図、アクティビティ図、合成構造図、タイミング図
- UML1.4 に準拠した図の閲覧
  - クラス図 （オブジェクト図、パッケージ図、ロバストネス図）、ユースケース図、コンポーネント図、配置図
- その他の図の閲覧
  - フローチャート、データフロー図、ER 図、CRUD、要求図、要求テーブル、トレーサビリティマップ
  - マインドマップ

1.2. macOS での機能制約

Aquaルックアンドフィールでは、ドラッグでタブを左右に移動する機能をサポートしていません。

2. インストールとアプリケーションの起動

2.1. astah*のインストール

インストーラをダブルクリックして、astah*のインストールを開始します。

2.2. astah*の起動

スタートメニューで astah*を選択またはデスクトップの astah*アイコンをダブルクリックします。あるいは、開きたい astah*ファイルをダブルクリックすることでも起動できます。
注) astah*起動時に、最新アップデート情報を HTTP アクセスによりチェックします。

2.3. astah*のモデルバージョン

メインメニューの[ヘルプ]-[バージョン情報]から astah*のモデルバージョンを参照します。astah*製品間では、同じモデルバージョンで編集されたファイルの読込み・表示が可能です。astah*ファイルの保存形式は、上位互換です。新しいモデルバージョンで編集されたファイルは、以前のモデルバージョンで表示することはできません。
プロジェクトファイルを表示した astah*のモデルバージョンの履歴は、プロジェクトのプロパティビューから確認します。

3. プロジェクトファイルの閲覧

一度に一つのプロジェクトのみ閲覧できます。

3.1. .asta ファイル

.asta ファイルとは、astah*のプロジェクトファイルです。

3.2. 既存のプロジェクトファイルを開く

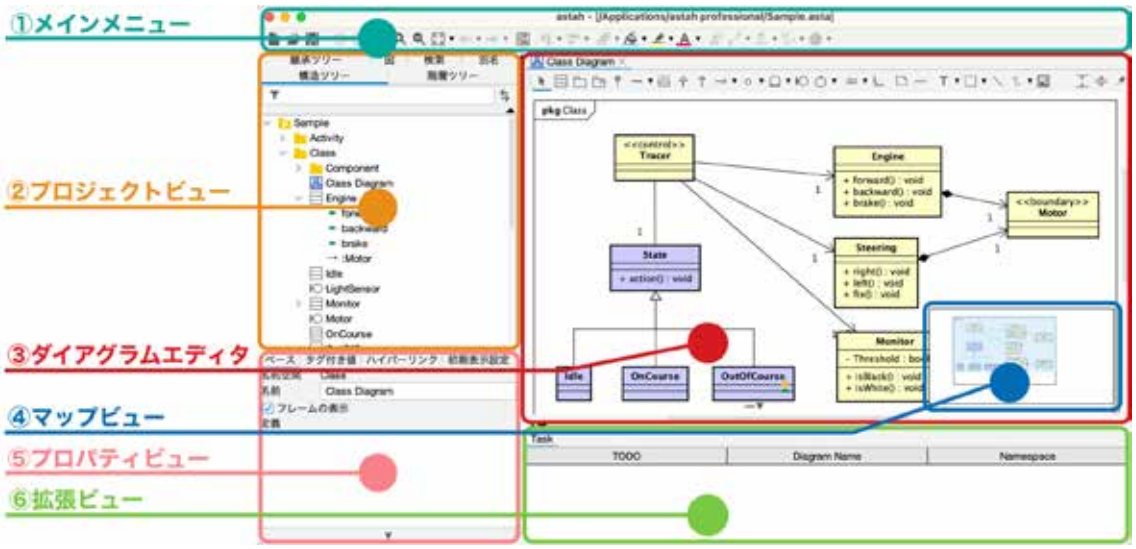
既存のプロジェクトを開くには、次の 5 つの方法があります。

1. メニューバーの[ファイル]-[プロジェクトを開く]から開く。
2. ツールバーの [既存のプロジェクトを開く]を使って開く。
3. メニューバーの[ファイル]から、以前に作業したプロジェクトを選択して開く。
4. *.asta ファイルをデスクトップ上のアイコンにドラッグする。
5. *.asta ファイルを、起動中の astah*のウィンドウにドラッグする。

4. 基本概念

4.1. 操作画面

画面は、「メインメニュー」、「プロジェクトビュー」、「ダイアグラムエディタ」、「マップビュー」、「プロパティビュー」から構成されます。



メインメニュー

メインメニューにはファイル操作や表示などプロジェクト全体をサポートする機能があります。よく使う機能はツールバーで提供しています。

プロジェクトビュー

プロジェクトビューは、プロジェクト全体を扱うビューです。上部のタブで、「構造ツリー」、「階層ツリー」、「継承ツリー」、「マップ」、「図」、「検索」、「別名」を切り替えます。

1) 構造ツリー

構造ツリーは、プロジェクトのモデル要素をツリー形式で表示します。モデル要素のポップアップメニューから操作を行います。

2) 階層ツリー

階層ツリーは、ステートマシン図、アクティビティ図、データフロー図の階層関係をツリー形式で表示します。

3) 継承ツリー

クラスの継承関係をツリー形式で表示します。

4) 図

プロジェクトに含まれる全ての図の一覧を表示します。

5)　検索
プロジェクト内からモデル要素やリンクが切れたハイパーリンクを検索します。
6)　別名
プロジェクト内のモデル要素に別名を表示します。

ダイアグラムエディタ

ダイアグラムエディタは、図やモデルを閲覧するビューです。同一プロジェクトの複数の図を開くことが可能で、図の切り替えは上部のタブで行います。

マップビュー

図の全体を表示し、ダイアグラムエディタで表示する図の範囲を指定することができます。

プロパティビュー

プロパティビューは、モデル要素のプロパティを表示するビューです。
対象となるモデルは構造ツリーや図から選択します。

拡張ビュー

使用できません。

4.2. 基本概念

モデルと図要素

クラスやユースケースなど、プロジェクトの要素を、モデル要素あるいはモデルと呼びます。図上に表現されたモデルを、特に図要素と呼びます。一つのモデルは、図要素として複数の図で表現することが可能です。

5. メインメニュー

メインメニューは、[ファイル]、[表示]、[ツール]、[ウィンドウ]、[ヘルプ]から構成されています。

5.1. ファイル

プロジェクトを開く

プロジェクトを開きます。

プロジェクトを閉じる

開いているプロジェクトを閉じます。

終了する［Ctrl+Q］

astah*を終了します。

最近使用したプロジェクト

最近使用したプロジェクトを最大 5 つ表示します。

5.2. 表示

ダイアグラムエディタや構造ツリーの表示を設定・変更します。

標準の倍率にする［Ctrl+1］

ダイアグラムエディタの図の表示を標準の倍率（100%）にします。

拡大する［Ctrl+[］

ダイアグラムエディタの図の表示を拡大します。

縮小する［Ctrl+]］

ダイアグラムエディタの図の表示を縮小します。

全体表示

ダイアグラムエディタの図の表示サイズを調整します。

（1）全体［Ctrl+0］

図を拡大/縮小して、図全体が画面に収まるように表示します。

（2）横全体

図を拡大/縮小して、図が画面幅に収まるように表示します。

（3）縦全体

図を拡大/縮小して、図が画面高さに収まるように表示します。

5.メインメニュー

前のエディタへ戻る［Alt+Left］

前のダイアグラムエディタを表示します。

次のエディタへ進む［Alt+Right］

次のダイアグラムエディタを表示します。

プロジェクトビューの表示/非表示

プロジェクトビュー全体、またはプロジェクトビュー内の各タブの表示/非表示を変更します。

（1）プロジェクトビュー［Ctrl+Shift＋P］

プロジェクトビュー全体の表示/非表示を変更します。

（2）構造ツリー［Ctrl+Shift＋S］

[構造ツリー]タブの表示/非表示を変更します。

（3）継承ツリー［Ctrl+Shift＋G］

[継承ツリー]タブの表示/非表示を変更します。

（4）マップ［Ctrl+Shift＋M］

[マップ]タブの表示/非表示を変更します。

（5）図　［Ctrl+Shift＋D］

[図]タブの表示/非表示を変更します。

（6）検索［Ctrl+Shift＋H］

[検索]タブの表示/非表示を変更します。

ルック＆フィールの変更

ルック＆フィール（見た目と使い心地）を変更します。変更できるものは、環境でサポートされているルック＆フィールのみです。

別名の表示

別名の表示を選択します。

（1）名前

ダイアグラムエディタの図要素に名前を表示します。

（2）別名 1（ない場合は名前）

ダイアグラムエディタの図要素の名前に、別名 1(未設定の場合は名前)を表示します。

（3）別名 2（ない場合は名前）

ダイアグラムエディタの図要素の名前に、別名 2(未設定の場合名前)を表示します。

5.3. ツール

ダイアグラム上の検索［Ctrl+F］

ダイアグラムエディタに表示されている要素について検索します。
⇒ 詳細は　検索バーをご覧ください。

システムプロパティ

astah*のシステムプロパティを設定します。
⇒ 詳細は　システムプロパティをご覧ください。

5.4. ウィンドウ

ダイアグラムエディタ上に開いたウィンドウの操作をします。

閉じる

アクティブ状態のウィンドウを閉じます。

左側のタブを全て閉じる

アクティブ状態のウィンドウの左側にあるタブ（ウィンドウ）を全て閉じます。

右側のタブを全て閉じる

アクティブ状態のウィンドウの右側にあるタブ（ウィンドウ）を全て閉じます。

他のタブを閉じる

アクティブ状態以外のウィンドウを全て閉じます。

全て閉じる

全てのウィンドウを閉じます。

上下に並べて表示

開いている複数のウィンドウを上下に並べて表示します。

左右に並べて表示

開いている複数のウィンドウを左右に並べて表示します。

上下左右に並べて表示

開いている複数のウィンドウを上下左右に並べて表示します。

5.5. ヘルプ

下記メニューを表示します。
・astah*リファレンスマニュアル

5.メインメニュー

・バグ情報
・ソフトウェアの更新確認
・バージョン情報

6. ツールバー

ツールバーは、メニューバー内にある使用頻度の高いコマンドをボタン表示したものです。

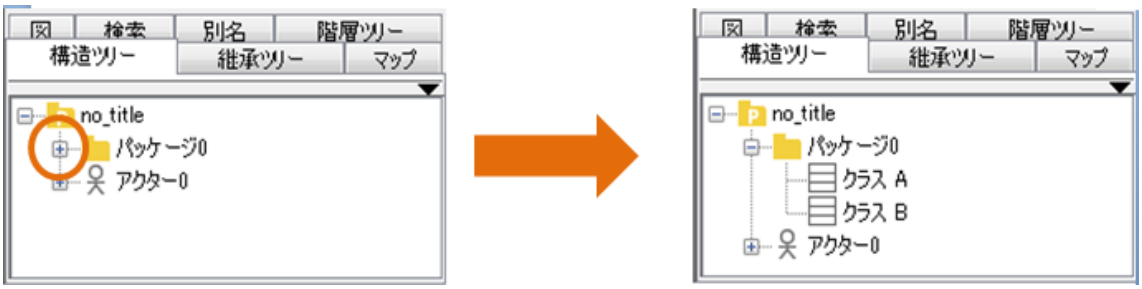
	[既存のプロジェクトを開く]プロジェクトを開きます。
	[標準の倍率にする] ダイアグラムエディタの図の表示を標準の倍率(100%)にします。
	[表示を拡大する] ダイアグラムエディタの図の表示を拡大します。
	[表示を縮小する] ダイアグラムエディタの図の表示を縮小します。
	[全体]、[横全体]、[縦全体] ダイアグラムエディタの図の表示サイズを調整します。
	[前の図] ダイアグラムエディタに表示している図以前に開いた図を表示します。
	[次の図] ダイアグラムエディタに表示している図以降に開いた図を表示します。
	[プロジェクトビューの表示/非表示] プロジェクトビュー全体の表示/非表示を設定します。

7. 構造ツリー

「プロジェクトビュー」の[構造ツリー]から図・モデルについて操作します。

7.1. ツリーのノードを開く

パッケージやクラスなど、子要素を持つものはノードとして表示します。



7.2. 図を開く

ｉ）図を選択して開く方法

開きたい図をダブルクリックするか、ポップアップメニューから[図を開く]をクリックします。

ii）パッケージ配下の図を選択して開く方法

① パッケージ、プロジェクト等のポップアップメニューから[配下の図を開く]を選択します。

② 配下の図一覧より、開きたい図を選択して、図を開きます。

iii）パッケージ配下の全図を開く方法

パッケージ、プロジェクト等のポップアップメニューから[配下の全図を開く]をクリックします。

iv）サムネイル画面から開く方法

① パッケージ、プロジェクト等のポップアップメニューから[配下の図のサムネイルを開く]をクリックします。

② サムネイル画面より、開きたい図を選択して、図を開きます。

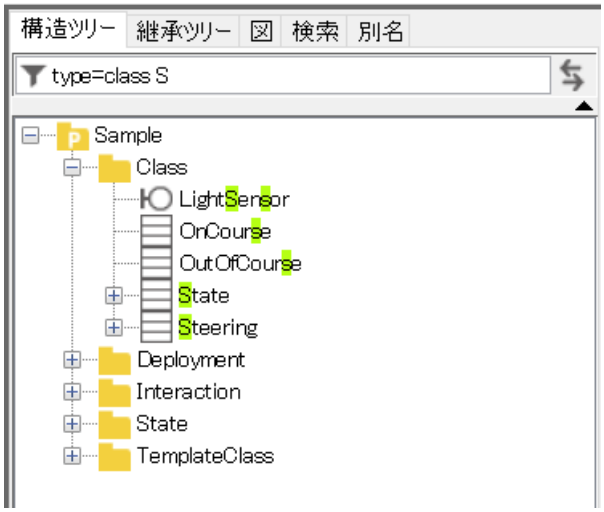
7.3. フィルタリング

Enterキーを押すと、フィルタリング文字列に表示文字列が部分的に一致するモデルのみ表示されます。

また、typeオプションを指定することで、クラス、パッケージ、ERモデル、図に表示対象を限定することが可能です。

形式: [type=(class | package | er | diagram)] [<フィルタリング文字列>]

7.構造ツリー



7.4. ダイアグラムエディタと同期する

ダイアグラムエディタの図や図要素の選択状態を、構造ツリー上で同期して表示します。構造ツリー右上の「同期」ボタンを押下して同期を有効にします。

7.5. 図要素へのジャンプ

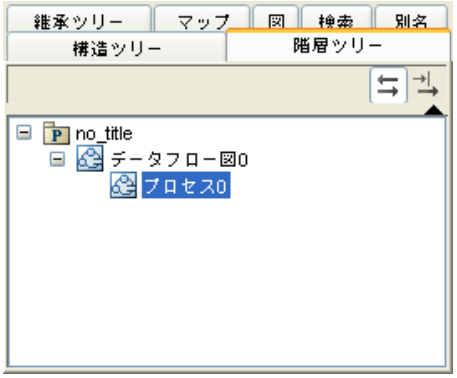
[構造ツリー]で、ジャンプするモデルのポップアップメニューから[図要素へジャンプ]を選択して、ジャンプ先の図をクリックします。

7.6. 使用されている図のサムネイルを表示

[構造ツリー]で、ジャンプするモデルのポップアップメニューから[使用されている図のサムネイルを表示]を選択して表示します。

8. 階層ツリー

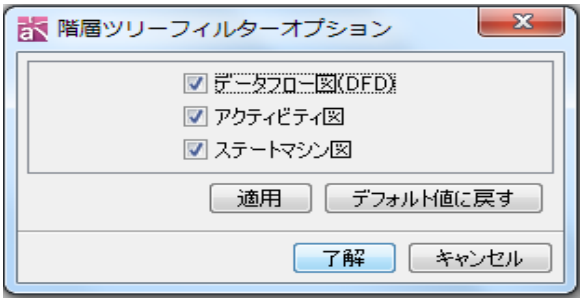
プロジェクト内のステートマシン図、アクティビティ図、データフロー図の階層を表示します。



8.1. 階層ツリーの機能

階層ツリーのフィルタリング

[階層ツリー]ビュー右端の[フィルター]ボタンを押下して[階層ツリーフィルターオプション]を開き、階層ツリーのフィルターオプションを指定します。



[階層ツリー]に表示する図を指定します。

1) データフロー図
2) アクティビティ図
3) ステートマシン図

8.階層ツリー

階層ツリーの選択

[階層ツリー]ビューの右から二番目にある「ダイアグラムエディタの選択と同期させる」ボタンを押下し、ダイアグラムエディタ上で選択したモデル要素を[階層ツリー]タブのツリー上で選択します。

9． 図（一覧）

[プロジェクトビュー]の[図]タブでは、プロジェクトに存在する図を一覧で表示します。

9.1． 図を開く

開きたい図をダブルクリックします。

9.2． 構造ツリー上のモデルへジャンプ

図を選択し右クリック後、[構造ツリー上のモデルへジャンプ]をクリックすると構造ツリー上のモデルへジャンプします。

10. 検索

検索対象がプロジェクト全体の場合、[検索]タブを使用します。検索対象がダイアグラム上の図上の文字列検索の場合、検索バーを利用します。

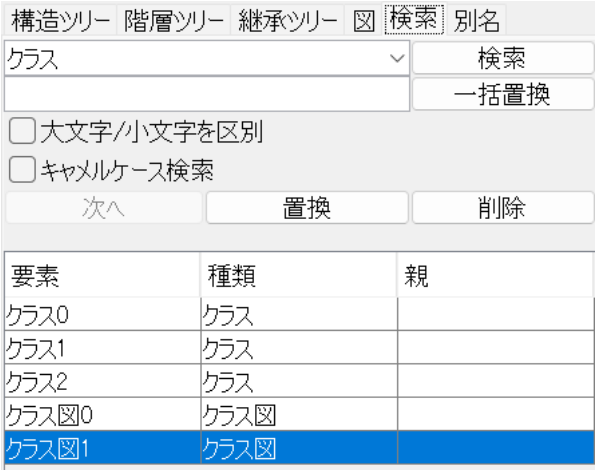
10.1. [検索]タブ

プロジェクト内から、モデル要素やリンクの切れたハイパーリンクを抽出します。

文字列による検索

検索するモデル要素の名前に含まれる文字列をコンボボックスに表示して[検索]をクリックします。検索条件の文字列の大文字と小文字を区別する場合は、[大文字小文字を区別する]にチェックを入れます。
キャメルケース検索を有効にする場合は、[キャメルケース検索]にチェックを入れます。

(例) "クラス"の検索



文字列以外での検索

コンボボックスのドロップダウンリストで以下の検索を選択します。

① **<<参照、描画されないモデル>>**
　図に描かれていない、かつ、他から参照されていないモデル

② **<<描画されないモデル>>**
　図に描画されていないモデル

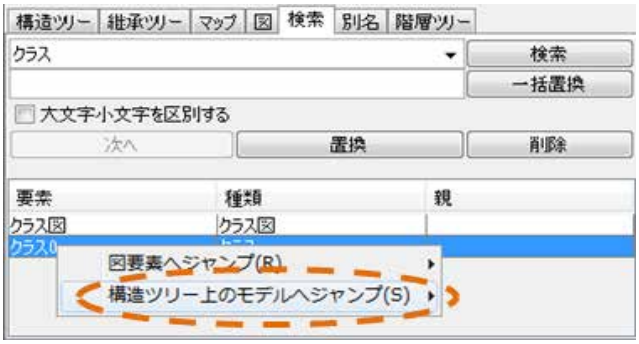
③ **<<参照されないモデル>>**
　他から参照されていないモデル

④ **<<リンク切れのハイパーリンク>>**
　リンクが切れているハイパーリンク

10.検索

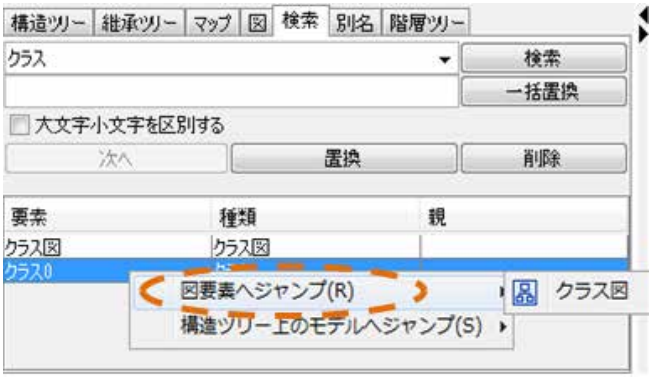
構造ツリー上のモデルへジャンプ

検索結果からポップアップメニューの[構造ツリー上のモデルへジャンプ]をクリックします。



図要素へジャンプ

検索結果からポップアップメニューの[図要素へジャンプ]をクリックし、図を選択します。



使用されている図のサムネイルを表示

検索結果からポップアップメニューの[使用されている図のサムネイルを表示]を選択して表示します。

10.2. 検索バー

ダイアグラムエディタが開かれている状態(*1)で Ctrl+F、もしくは [表示]-[ダイアグラム上の検索]を押下すると、以下のような検索バーがダイアグラムエディタの上部に表示されます。

(*1) ユースケース記述、CRUD、要求テーブル、*文字列を除く。

検索テキストボックス

検索したい文字列を表示します。

10.検索

表示状態で Enter を押下すると、"次へ"の動作を行います。
表示状態で Enter + Shift を押下すると、"前へ"の動作を行います。

"次へ"ボタン

検索文字列が当てはまる次の図要素を検索し選択し、検索文字列が当てはまる要素は全てハイライトされます。

"前へ"ボタン

検索文字列が当てはまる前の図要素を検索し選択し、検索文字列が当てはまる要素は全てハイライトされます。

"オプション"ボタン

"検索オプション"ダイアログを表示します。
"大文字・小文字を区別":デフォルト OFF
"キャメルケース検索":デフォルト ON
"閉じられているトピックを検索対象に含める(マインドマップ)":デフォルト OFF

"X"ボタン

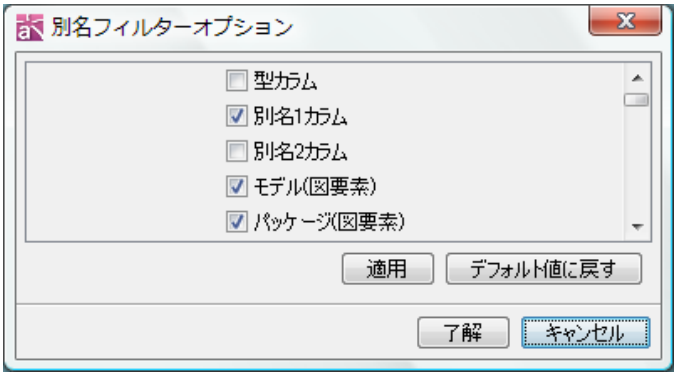
検索バーを閉じます。

11. 別名機能

プロジェクト内のモデル要素に別名を設定して、図上の表示を切り替えることにより、多国語に対応します。別名は「プロジェクトビュー」の[別名]タブで設定します。

別名のフィルタリング

[別名]ビュー右端の[フィルター]ボタンを押下して[別名フィルターオプション]を開き、別名のフィルターオプションを指定します。



[別名]タブの表示欄やツリーに表示するモデルを指定します。

- 型カラム
- 別名 1 カラム
- 別名 2 カラム
- モデル(図要素)
- パッケージ(図要素)
- サブシステム(図要素)
- 図
- クラス
- 属性
- 操作
- パラメタ
- テンプレートパラメタ
- 関連
- 関連端
- 限定子
- 汎化
- 使用依存
- 実現
- 依存
- インスタンス仕様
- リンク
- リンク端
- ユースケース
- 拡張
- 包含
- 拡張点
- エンティティ
- ドメイン
- 主キー
- キー
- 外部エンティティ
- データストア
- 要求
- テストケース
- ノート
- テキスト

11.別名機能

別名ツリーの選択

[別名]ビューの「ダイアグラムエディタの選択と同期させる」ボタンを押下すると、ダイアグラムエディタ上で選択したモデル要素を[別名]タブのツリー上で選択します。

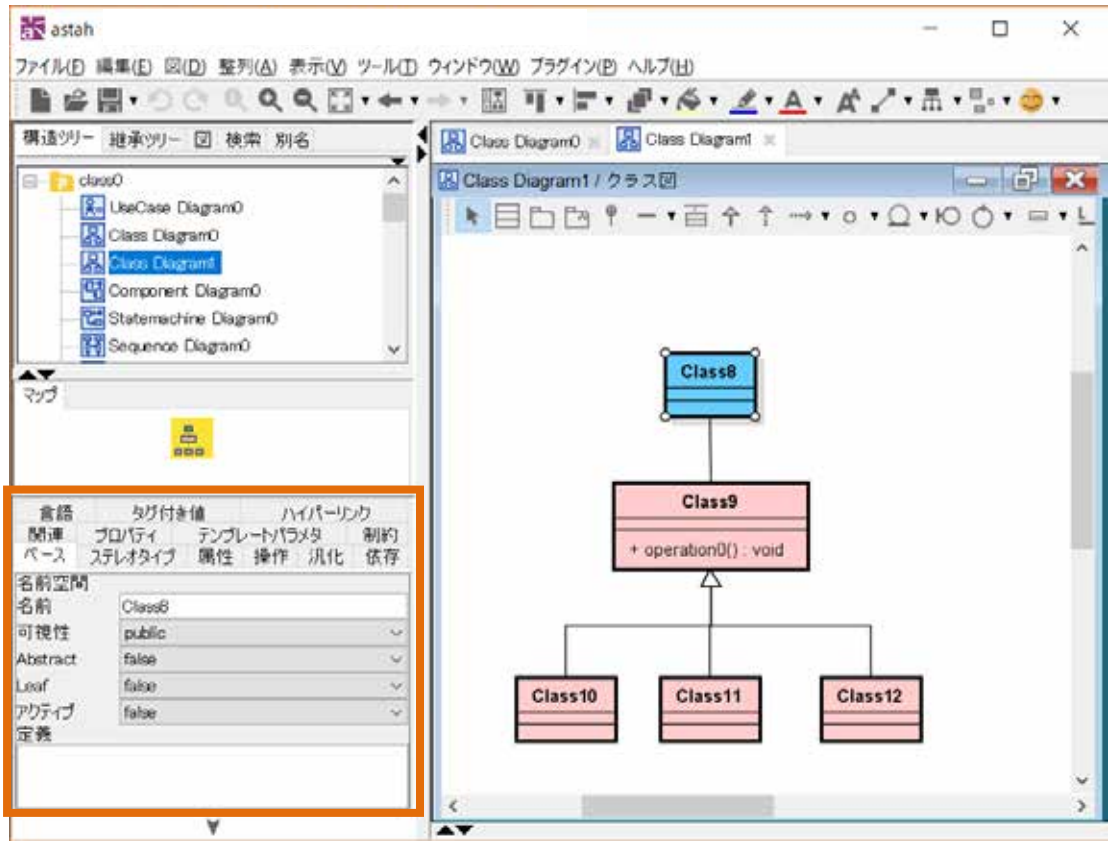
11.1. 別名の表示

別名を表示するには、メインメニューの[表示]-[別名の表示]で、以下の項目を選択します。

1) 名前
2) 別名 1 (ない場合は名前)
3) 別名 2 (ない場合は名前)

12. プロパティビュー

選択されたモデル要素や図のプロパティを表示します。
Viewer では、編集に係るプロパティは使用できません。



12.1. プロパティの表示

モデル要素や図のプロパティを表示するには、「プロジェクトビュー」や「ダイアグラムエディタ」で、表示するモデル要素や図要素を選択します。

12.2. プロパティの構成

プロパティは複数のタブから構成されます。選択されたモデル要素や図によってその構成が異なります。例えば、クラスのプロパティは、[ベース]、[ステレオタイプ]、[属性]、[操作]、[汎化]、[依存]、[関連]、[プロパティ]、[テンプレートパラメタ]、[制約]、[言語]、[タグ付き値]、[ハイパーリンク]から構成されます。

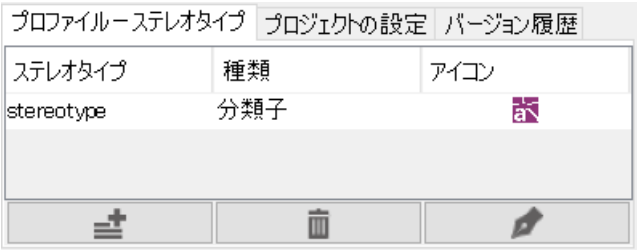
12.プロパティビュー

12.3. プロジェクトのプロパティ

1)　[プロジェクトの設定]タブ

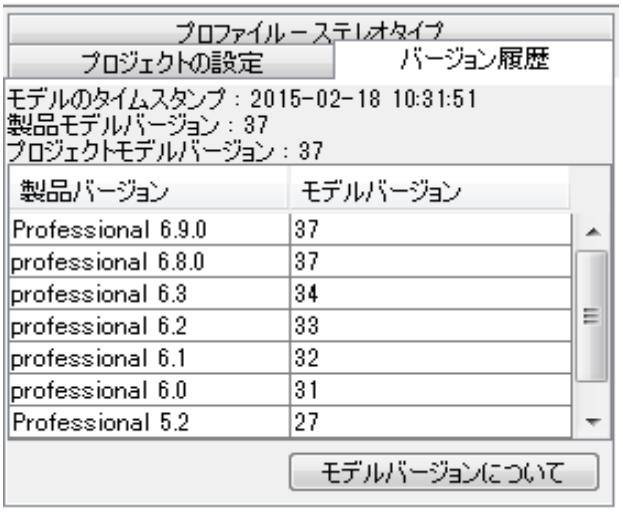
要素	概要
プロジェクトのプロパティ「設定」	使用できません
プロジェクトのプロパティ「同期」	使用できません
デフォルトフォント	デフォルトのフォントを表示します。
Java C# C++	使用できません

2)　[プロファイル-ステレオタイプ]タブ



要素	概要
ステレオタイプ	ステレオタイプを表示します。
種類	種類を表示します。
アイコン	拡張アイコンを表示します。

3) [バージョン履歴]タブ

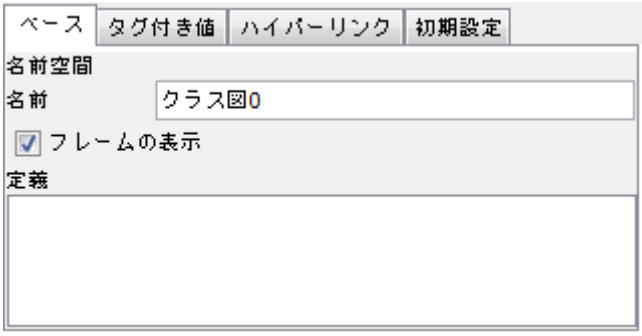


表示中のプロジェクトファイルの製品バージョンとモデルバージョン履歴を表示します。

要素	概要
モデルのタイムスタンプ	モデルのタイムスタンプを表示します。
製品モデルバージョン	起動中の astah*のモデルバージョンを表示します。
プロジェクトモデルバージョン	プロジェクトのモデルバージョンを表示します。
製品バージョン	製品バージョンの履歴を表示します。
モデルバージョン	モデルバージョンの履歴を表示します。
モデルバージョンについて	astah*ウェブサイトの「モデルの互換性」ページにアクセスします。

12.4. クラス図のプロパティ

1) [ベース]タブ



要素	概要
名前空間	名前空間を表示します。
名前	クラス図の名前を表示します。
定義	定義を表示します。

2) [タグ付き値]タブ

要素	概要
名前	タグ付き値の名前を表示します。
値	タグ付き値を表示します。

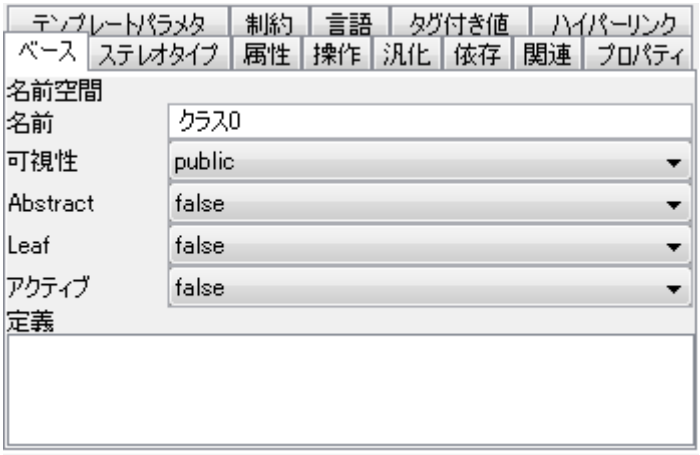
3) [ハイパーリンク]タブ

12.プロパティビュー

要素	概要
名前	ハイパーリンクの名前を表示します
パス	ハイパーリンクのパスを表示します
コメント	ハイパーリンクのコメントを表示します
リンク先を開くボタン	選択されたハイパーリンクを開きます。

12.5. クラスのプロパティ

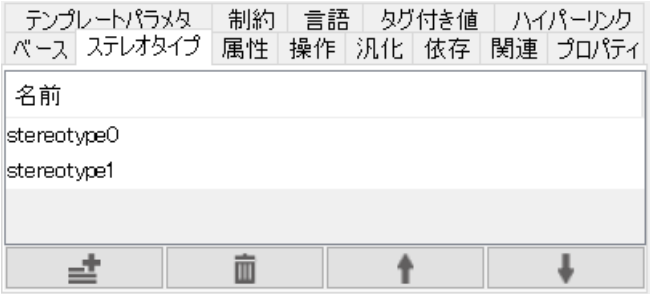
1) [ベース]タブ



要素	概要
名前空間	所属する名前空間を表示します。
名前	クラス名を表示します。
可視性	可視性を表示します。
Abstract	抽象クラスかどうかを表示します。
Leaf	Leaf かどうかを表示します。
アクティブ	アクティブかどうかを表示します。
定義	定義を表示します。

2) [ステレオタイプ]タブ

12.プロパティビュー

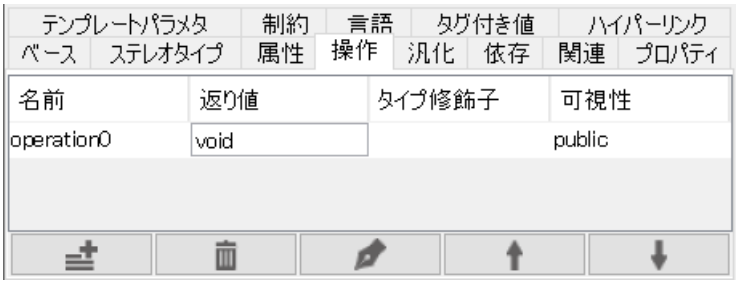


要素	概要
名前	ステレオタイプ名を表示します。

3) [属性]タブ

要素	概要
名前	属性名を表示します。
型	型を表示します。
タイプ修飾子	タイプ修飾子を表示します。(EX)*,**,&
可視性	可視性を表示します。
初期値	属性の初期値を表示します。

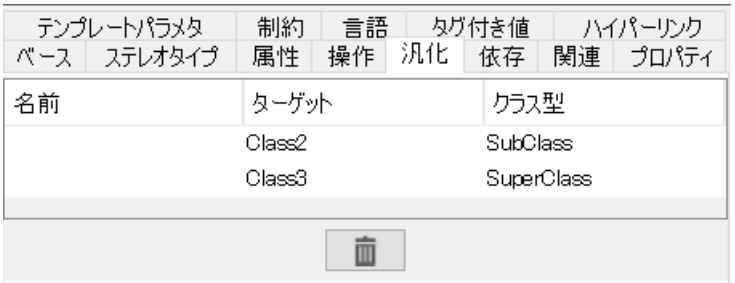
4) [操作]タブ



要素	概要
名前	操作名を表示します。
返り値	返り値の型を表示します。
タイプ修飾子	タイプ修飾子を表示します。(EX)*,**,&

可視性	可視性を表示します。

5)　[汎化]タブ



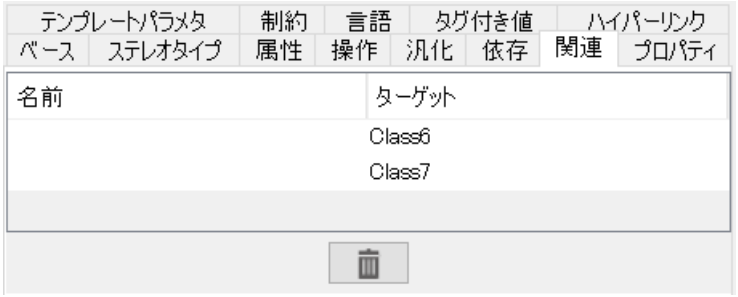
要素	概要
名前	汎化名を表示します。
ターゲット	汎化の関係にある相手クラス名を表示します。
クラス型	SuperClass であるか SubClass であるかを表示します。

6)　[依存]タブ

要素	概要
名前	依存名を表示します。
ターゲット	依存関係にある相手クラス名を表示します。
依存型	Supplier であるか Client であるかを表示します。
種類	依存関係の種類を表示します。

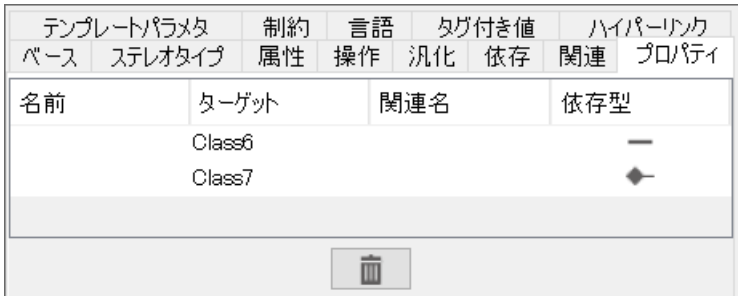
7)　[関連]タブ

12. プロパティビュー



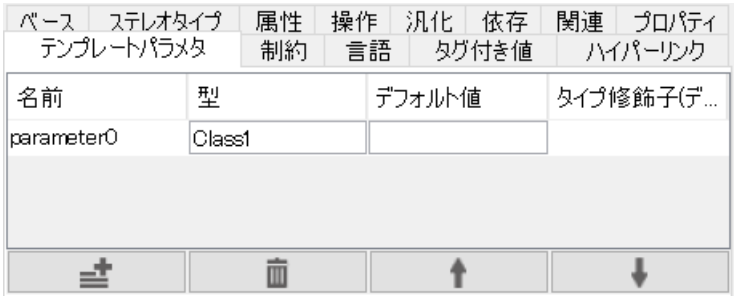
要素	概要
名前	関連名を表示します。
ターゲット	関連の関係にある相手クラス名を表示します。

8) [プロパティ]タブ



要素	概要
名前	名前を表示します。
ターゲット	実現関係にある相手クラス名を表示します。
関連名	関連名を表示します。
依存型	関連の種類をアイコンで表示します。

9) [テンプレートパラメタ]タブ

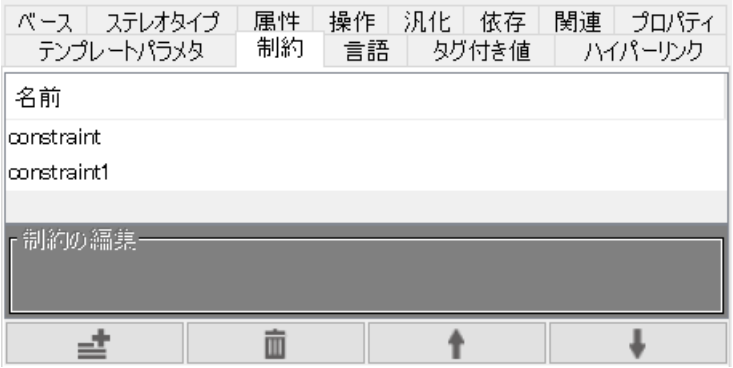


要素	概要

12.プロパティビュー

名前	テンプレートパラメタ名を表示します。
型	型を表示します。
デフォルト値	デフォルトの値を表示します。
タイプ修飾子 （デフォルト値）	デフォルト値のタイプ修飾子を表示します。(EX)*,**,&

10)　[制約]タブ



要素	概要
名前	制約名を表示します。
制約の表示	制約を表示します。

12)　[言語]タブ

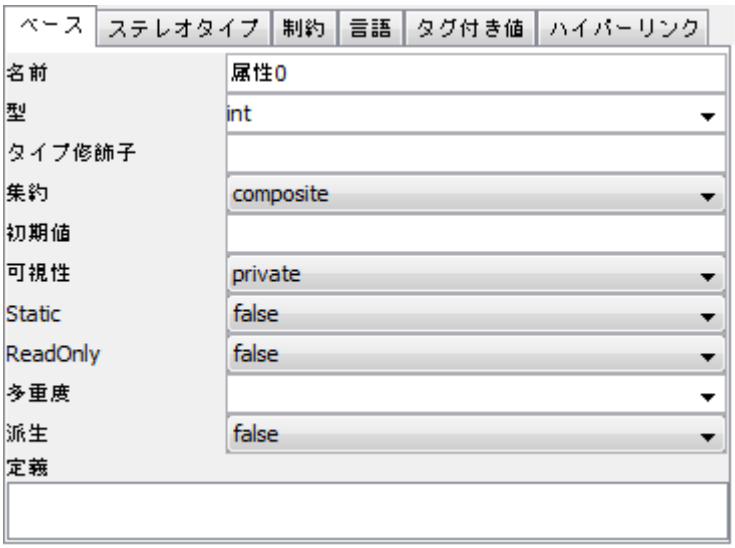
要素	概要
Java	選択したモデルに Java の言語を適用します。プロジェクトのプロパティで Java が指定されている場合のみ有効にできます。
annotations	Java のアノテーションを表示します。
@interface	Java の@interface を表示します。
strictfp	Java の strictfp を表示します。
final	Java の final を表示します。
C#	選択したモデルに C#の情報を適用します。プロジェクトのプロパティで C#が指定されている場合のみ有効にできます。
<<delegate>>	C#の delegate を表示します。
<<struct>>	C#の struct を表示します。
attributes	C#の属性を表示します。

sealed	C#の sealed を表示します。
static	C#の static を表示します。
internal	C#の internal を表示します。
C++	選択したモデルに C++の情報を適用します。プロジェクトのプロパティで C++が指定されている場合のみ有効にできます。
<<struct>>	C++の struct を表示します。
<<union>>	C++の union を表示します。

注）[タグ付き値]、[ハイパーリンク]タブは、クラス図のプロパティをご覧ください。

12.6. 属性のプロパティ（クラス図）

1) [ベース]タブ



要素	概要
名前	属性名を表示します。
型	型を表示します。
タイプ修飾子	タイプ修飾子を表示します。(EX)*,**,&
集約	属性の集約を表示します。
初期値	初期値を表示します。
可視性	可視性を表示します。
Static	Static かどうかを表示します。
ReadOnly	ReadOnly かどうかを表示します。
多重度	多重度を表示します。

12.プロパティビュー

派生	派生属性かどうかを表示します。
定義	定義を表示します。

2) [言語]タブ

要素	概要
Java	選択したモデルに Java の言語を適用します。プロジェクトのプロパティで Java が指定されている場合のみ有効にできます。
annotations	Java のアノテーションを表示します。
transient	Java の transient を表示します。
volatile	Java の volatile を表示します。
final	Java の final を表示します。
C#	選択したモデルに C#の言語が適用されているかどうかを表示します。
<<property>>	C#のプロパティかどうかを表示します。
<<property>>get	C#のプロパティの set メソッドかどうかを表示します。
<<property>>set	C#のプロパティの get メソッドかどうかを表示します。
attributes	C#の属性を表示します。
const	C#の const を表示します。
override	C#の override を表示します。
volatile	C#の volatile を表示します。
internal	C#の internal を表示します。
readonly	C#の readonly を表示します。
C++	選択したモデルに C++ の言語が適用されているかどうかを表示します。
const	C++ の const を表示します。
mutable	C++の mutable を表示します。
volatile	C++の volatile を表示します。

注) [タグ付き値]、[ハイパーリンク]タブは、クラス図のプロパティを、[ステレオタイプ]、[制約]タブは、クラスのプロパティをご覧ください。

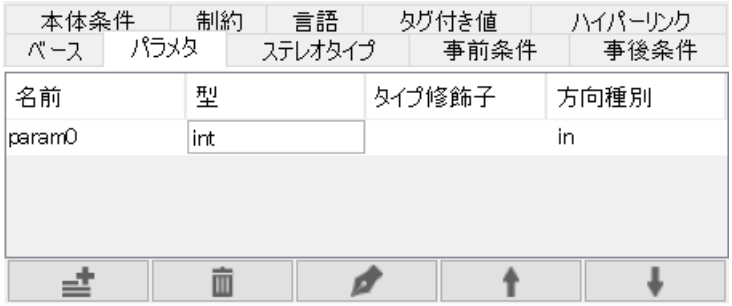
12.プロパティビュー

12.7. 操作のプロパティ

1)　[ベース]タブ

要素	概要
名前	操作名を表示します。
返り値	返り値の型を表示します。
タイプ修飾子	タイプ修飾子を表示します。(EX)*,**,&
可視性	操作の可視性を表示します。
Static	Static な操作かどうかを表示します。
Abstract	抽象操作かどうかを表示します。
Leaf	Leaf かどうかを表示します。
定義	定義を表示します。

2)　[パラメタ]タブ



要素	概要
名前	パラメタ名を表示します。
型	型を表示します。
タイプ修飾子	タイプ修飾子を表示します。(EX)*,**,&

12.プロパティビュー

方向種別	方向種別を表示します。(in/out/inout)
表示ボタン	選択されたパラメタの詳細を表示します。

3) [事前条件]タブ

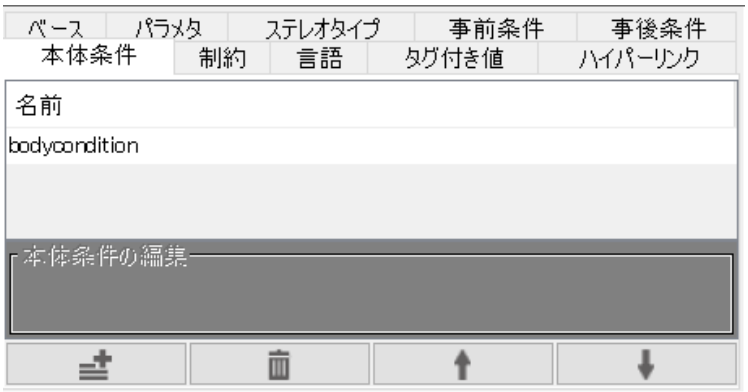
要素	概要
名前	事前条件名を表示します。
事前条件の表示	事前条件を表示します。 名前から表示する事前条件を選択し、この欄で表示します。

4) [事後条件]タブ

要素	概要
名前	事後条件名を表示します。
事後条件の表示	事後前条件を表示します。 名前から表示する事後条件を選択し、この欄で表示します。

5) [本体条件]タブ

12.プロパティビュー



要素	概要
名前	本体条件名を表示します。
本体条件の表示	本体条件を表示します。 名前から表示する本体条件を選択し、この欄で表示します。

6)　[言語]タブ

要素	概要
Java	選択したモデルに Java の言語を適用します。 プロジェクトのプロパティで Java が指定されている場合のみ有効に出来ます。
Annotations	Java のアノテーションを表示します。
Synchronized	Java の synchronized を表示します。
Native	Java の native を表示します。
Strictfp	Java の strictfp を表示します。
Final	Java の final を表示します。
C#	選択したモデルに C#の言語が適用されているかどうかを表示します。
<<event>>	C#のイベントを表示します。
<<event>>add	C#のイベントの add メソッドを表示します。
<<event>>remove	C#のイベントの remove メソッドを表示します。
<<indexer>>	C#のインデクサを表示します。
<<indexer>>get	C#のインデクサの get メソッドを表示します。
<<indexer>>set	C#のインデクサの set メソッドを表示します。
Attributes	C#の属性を表示します。

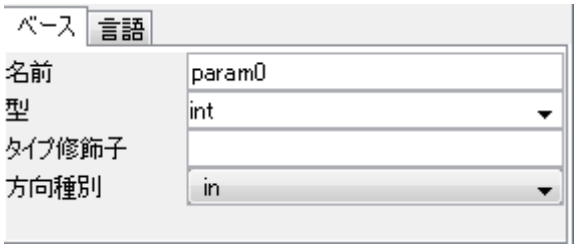
12.プロパティビュー

Extern	C#の extern を表示します。
Override	C#の override を表示します。
Sealed	C#の sealed を表示します。
Unsafe	C#の unsafe を表示します。
Virtual	C#の virtual を表示します。
Internal	C#の internal を表示します。
Extension Method	C#の拡張メソッドを表示します。
C++	選択したモデルに C++の言語が適用されているかどうかを表示します。
Friend	C++ の friend を表示します。
Const	C++ の const を表示します。
Explicit	C++ の explicit を表示します。
Inline	C++ の inline を表示します。
Virtual	C++ の virtual を表示します。

注)[ステレオタイプ]、[制約]タブは、クラスのプロパティをご覧ください。
注) [タグ付き値]、[ハイパーリンク]タブは、クラス図のプロパティをご覧ください。

12.8. パラメタのプロパティ

1) [ベース]タブ



要素	概要
名前	名前を表示します。
型	型を表示します。
タイプ修飾子	タイプ修飾子を表示します。
方向種別	方向種別を表示します。

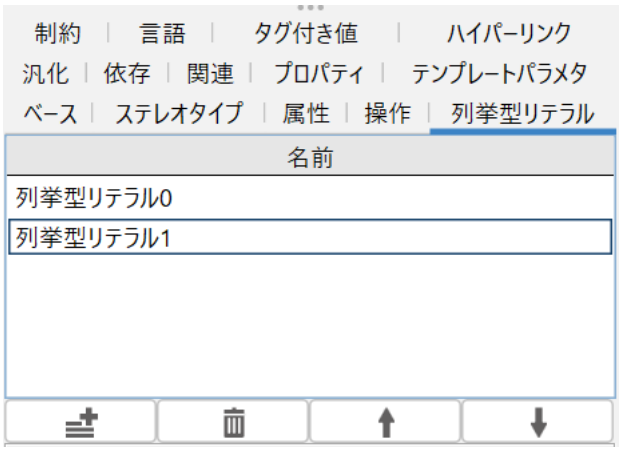
2) [言語]タブ

要素	概要

C++	パラメタに C++の言語が適用されているかどうかを表示します。
const	パラメタが const かどうかを表示します。

12.9. 列挙型のプロパティ

1) [列挙型リテラル]タブ

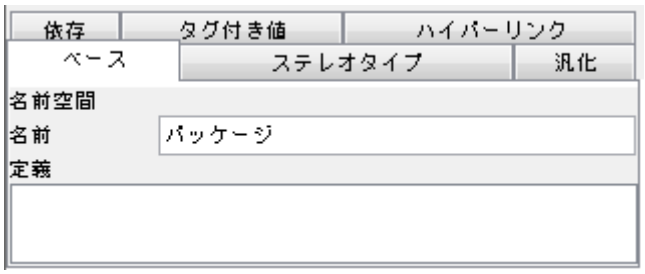


要素	概要
名前	列挙型リテラル名を編集します。

※その他のタブについては[クラスのプロパティ](#)と同様です。

12.10. パッケージのプロパティ

1) [ベース]タブ



要素	概要
名前空間	所属する名前空間を表示します。
名前	名前を表示します。
定義	定義を表示します。

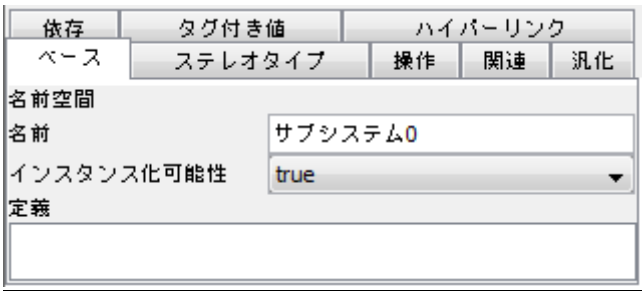
注) [ステレオタイプ]、[汎化]、[依存]タブは、クラスのプロパティを、[タグ付き値]、[ハイパーリンク]タブは、クラス図のプロパティをご覧ください。

12.11. モデルのプロパティ

⇒ パッケージのプロパティと同様です。

12.12. サブシステムのプロパティ

1) [ベース]タブ

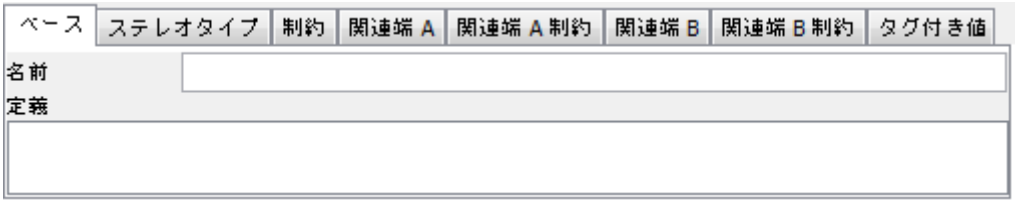


要素	概要
名前空間	所属する名前空間を表示します。
名前	サブシステム名を表示します。
インスタンス化可能性	インスタンス化可能性を表示します。
定義	定義を表示します。

注) [ステレオタイプ]、[操作]、[関連]、[汎化]、[依存]タブは、クラスのプロパティ、[タグ付き値]、[ハイパーリンク]タブは、クラス図のプロパティをご覧ください。

12.13. 関連のプロパティ

1) [ベース]タブ



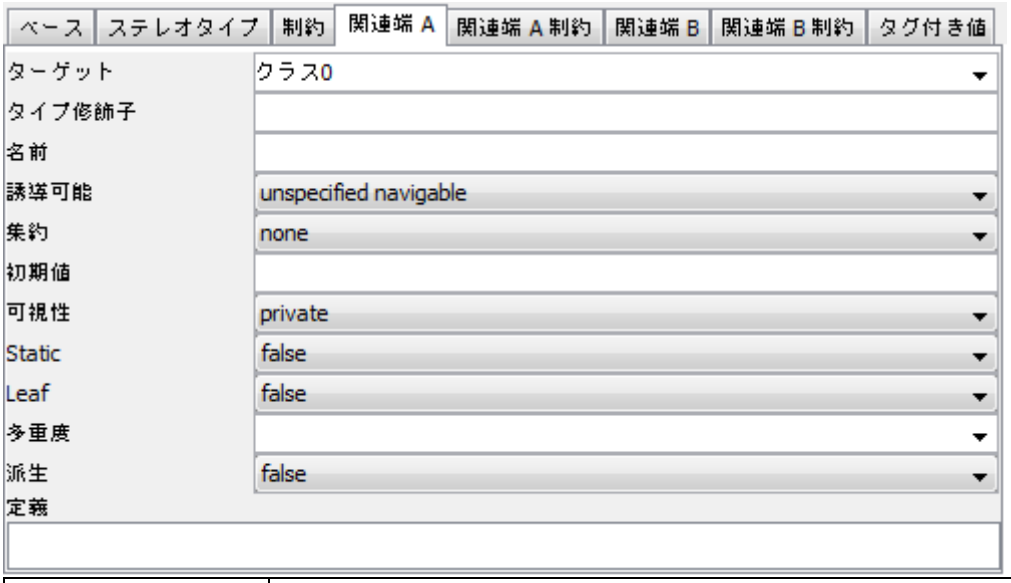
要素	概要
名前	関連名を表示します。
定義	関連の定義を表示します。

注) [ステレオタイプ]、[制約]タブは、クラスのプロパティをご覧ください。

2) [関連端]タブ

12.プロパティビュー

関連のターゲット（始点と終点）について、それぞれの[関連端 A]と[関連端 B]タブがあります。



要素	概要
ターゲット	ターゲットのモデル要素名を表示します。
タイプ修飾子	タイプ修飾子を表示します。(EX)*,**,&
名前	関連端名を表示します。
誘導可能	誘導可能性の方向を「Navigable/Unspecified Navigable/Non Navigable」表示します。
集約	集約関係を「なし（none）/集約（aggregate）/コンポジット（composite)」表示します。
初期値	初期値を表示します。
可視性	可視性を表示します。
Static	Static かどうかを表示します。
Leaf	Leaf かどうかを表示します。
多重度	多重度を表示します。
派生	派生かどうかを表示します。
定義	ターゲットの定義を表示します。

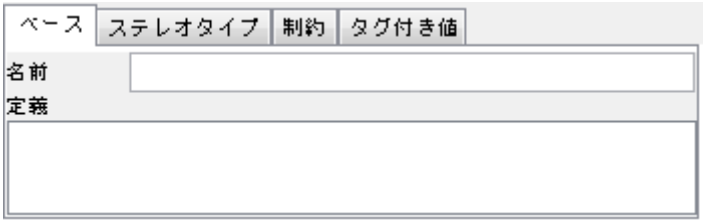
3)　[関連端 制約]タブ

関連のターゲット（始点と終点）について、それぞれの[関連端制約]タブがあります。

注）[タグ付き値]タブは、クラス図のプロパティをご覧ください。

12.14. 汎化のプロパティ

1) [ベース]タブ



要素	概要
名前	汎化名を表示します。
定義	定義を表示します。

注) [ステレオタイプ]、[制約]タブは、クラスのプロパティを、[タグ付き値]タブは、クラス図のプロパティをご覧ください。

12.15. 実現のプロパティ

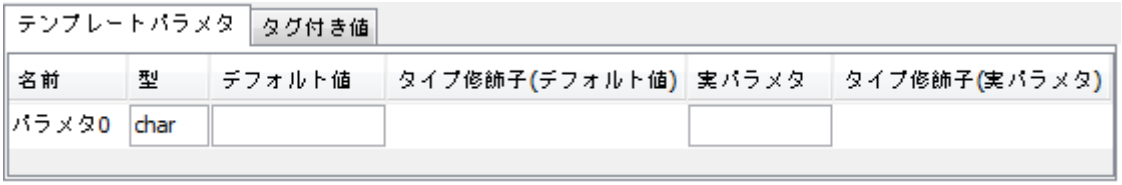
⇒ 汎化のプロパティ をご覧ください。

12.16. 依存のプロパティ

⇒ 汎化のプロパティ をご覧ください。

12.17. テンプレートバインディングのプロパティ

1) [テンプレートパラメタ]タブ



要素	概要
名前	テンプレートパラメタ名を表示します。
型	型を表示します。
デフォルト値	デフォルトの値を表示します。
タイプ修飾子 （デフォルト値）	デフォルト値のタイプ修飾子を表示します。(EX)*,**,&
実パラメタ	実パラメタを表示します。

12.プロパティビュー

タイプ修飾子 （実パラメタ）	実パラメタのタイプ修飾子を表示します。(EX)*,**,&

注）[タグ付き値]タブは、クラス図のプロパティをご覧ください。

12.18. インスタンス仕様（クラス図・配置図）のプロパティ

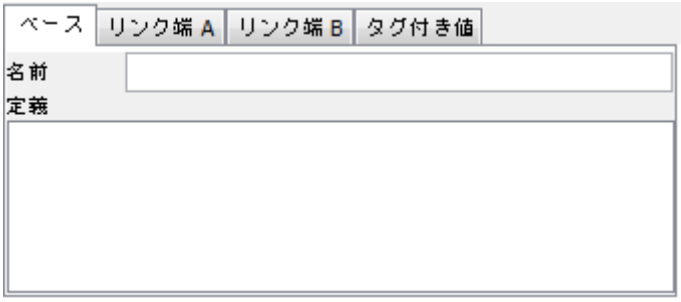
1) [ベース]タブ

要素	概要
名前	インスタンス仕様名を表示します。
ベースクラス	ベースクラスを表示します。
プロパティ	ベースクラスのプロパティを開きます。
スロット	スロット(ベースクラスの属性)を表示します。

注）[タグ付き値]、[ハイパーリンク]タブは、クラス図のプロパティをご覧ください。

12.19. リンク（クラス図・配置図）のプロパティ

1) [ベース]タブ

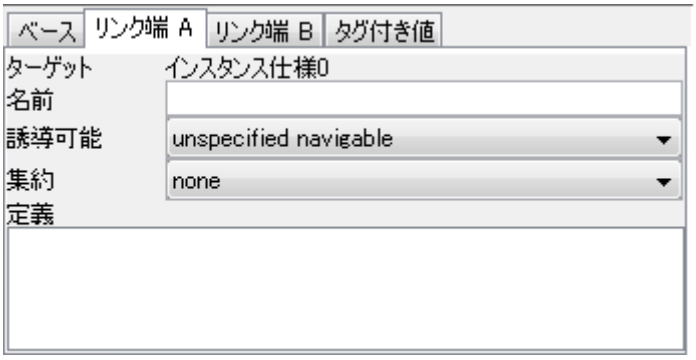


12.プロパティビュー

要素	概要
名前	リンク名を表示します。
定義	リンクの定義を表示します。

2)　[リンク端]タブ

リンクのプロパティの[リンク端]タブは、リンクのターゲット（始点と終点）の 2 つがあります。



要素	概要
ターゲット	ターゲットのインスタンス仕様名を表示します。
名前	関連端名を表示します。
誘導可能	誘導可能性の方向を「Navigable/Unspecified Navigable/Non Navigable」表示します。
集約	集約関係を「なし（none）/集約（aggregate）/コンポジット（composite)」表示します。
定義	ターゲットの定義を表示します。

注）[タグ付き値]タブは、クラス図のプロパティをご覧ください。

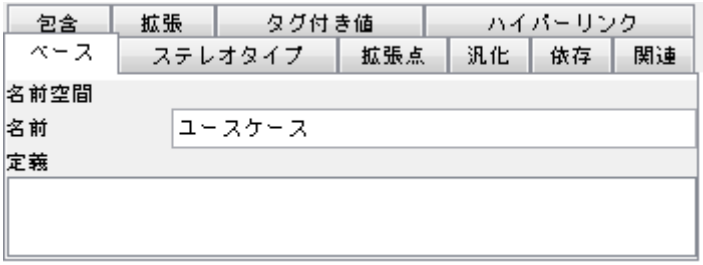
12.20.　アクターのプロパティ

⇒　クラスのプロパティ　をご覧ください。

12.21.　ユースケースのプロパティ

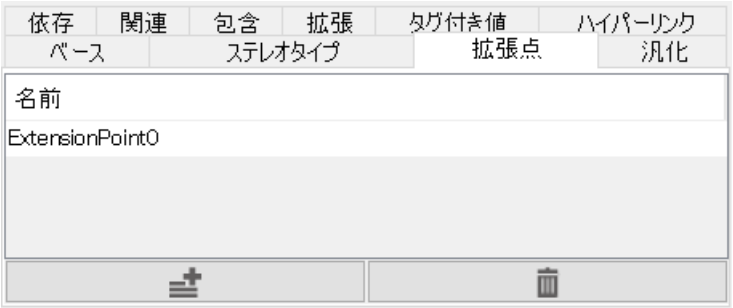
1)　[ベース]タブ

12.プロパティビュー



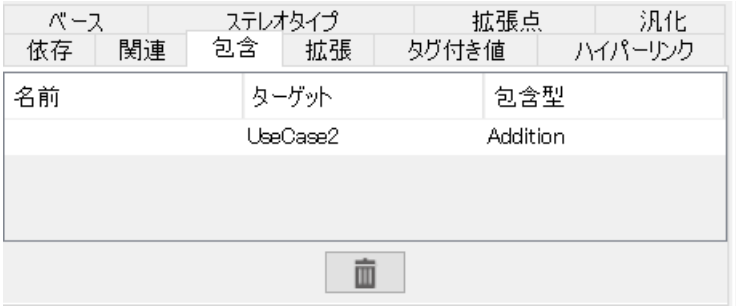
要素	概要
名前空間	名前空間を表示します。
名前	ユースケース名を表示します。
定義	ユースケースの定義を表示します。

2) [拡張点]タブ



要素	概要
名前	拡張点名を表示します。

3) [包含]タブ



要素	概要
名前	包含名を表示します。
ターゲット	包含関係にある相手クラス名を表示します。
包含型	Addition であるか Base であるかを表示します。

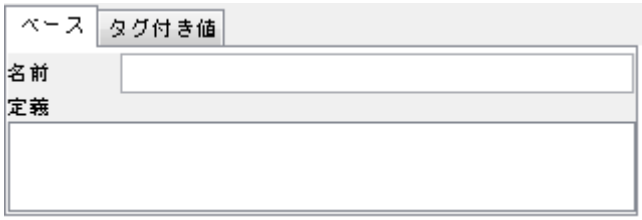
4)　[拡張]タブ

要素	概要
名前	拡張名を表示します。
ターゲット	拡張関係にある相手クラス名を表示します。
拡張型	Addition であるか Base であるかを表示します。

注）[ステレオタイプ]、[汎化]、[依存]、[関連]タブは、クラスのプロパティを、[タグ付き値]、[ハイパーリンク]タブは、クラス図のプロパティをご覧ください。

12.22.　包含のプロパティ

1)　[ベース]タブ



要素	概要
名前	包含名を表示します。
定義	定義を表示します。

注）[タグ付き値]タブは、クラス図のプロパティをご覧ください。

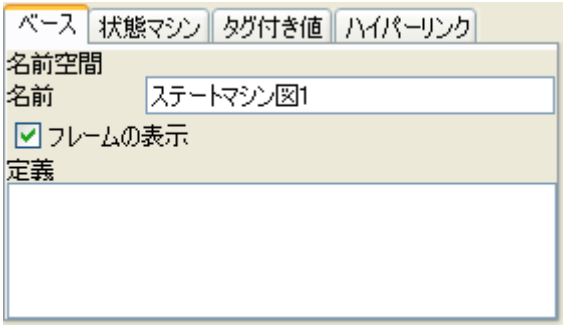
12.23.　拡張のプロパティ

⇒　包含のプロパティ　をご覧ください。

12.24.　ステートマシン図のプロパティ

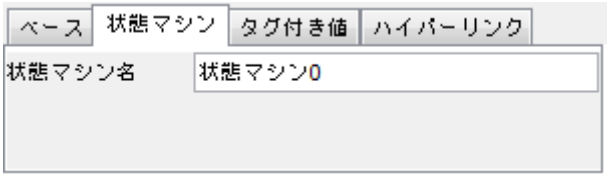
1)　[ベース]タブ

12.プロパティビュー



要素	概要
名前空間	名前空間を表示します。
名前	ステートマシン図の名前を表示します。
フレームの表示	ダイアグラムエディタ上のフレーム表示の有無を表示します。
定義	定義を表示します。

2) [状態マシン]タブ

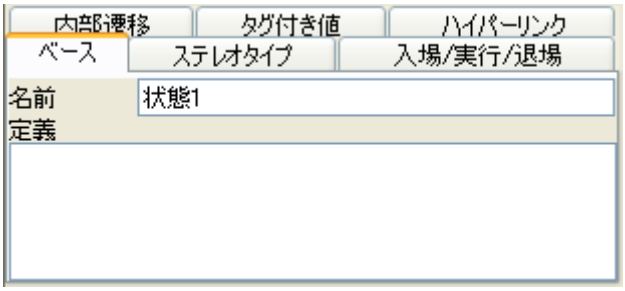


要素	概要
状態マシン名	状態マシン名を表示します。

注）[タグ付き値]、[ハイパーリンク]タブは、クラス図のプロパティをご覧ください。

12.25. 状態のプロパティ

1) [ベース]タブ

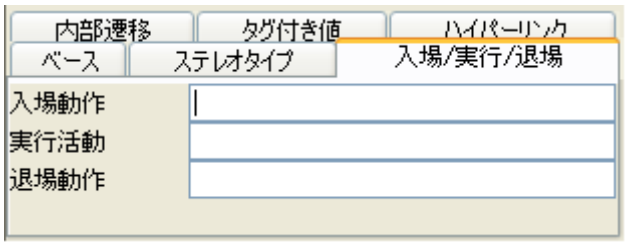


要素	概要
名前	状態名を表示します。

12.プロパティビュー

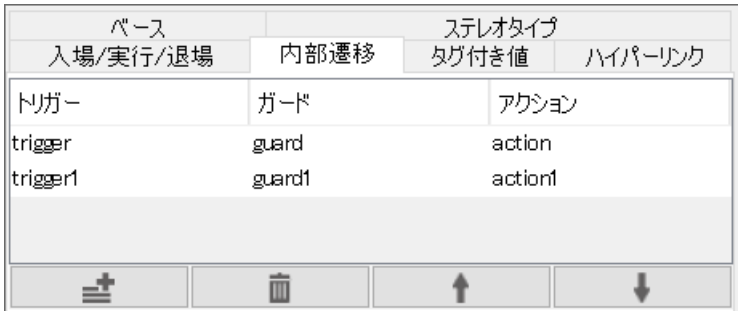
定義	定義を表示します。

2) [入場/実行/退場]タブ



要素	概要
入場動作	入場動作を表示します。
実行活動	実行活動を表示します。
退場動作	退場動作を表示します。

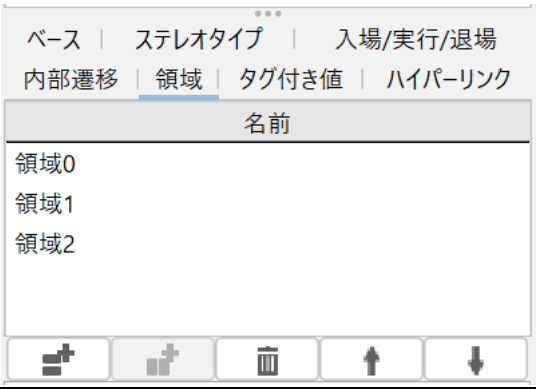
3) [内部遷移]タブ



要素	概要
トリガー	トリガーを表示します。
ガード	ガード条件を表示します。
アクション	アクションを表示します。

注) [ステレオタイプ]タブは、クラスのプロパティを、[タグ付き値]、[ハイパーリンク]タブはクラス図のプロパティをご覧ください。

4) [領域]タブ



要素	概要
名前	領域名を編集します。

注）[ステレオタイプ]タブは、クラスのプロパティを、[タグ付き値]、[ハイパーリンク]タブはクラス図のプロパティをご覧ください。

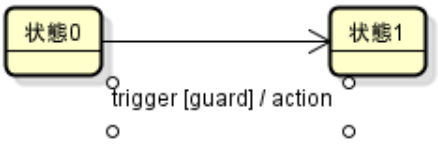
12.26. 遷移（制御フロー・オブジェクトフロー）のプロパティ

1) [ベース]タブ

要素	概要
接続元	遷移の接続元を表示します。
接続先	遷移の接続先を表示します。
トリガー	トリガーを表示します。
ガード	ガード条件を表示します。
アクション	アクションを表示します。

プロパティビューで、遷移のアクションを設定する

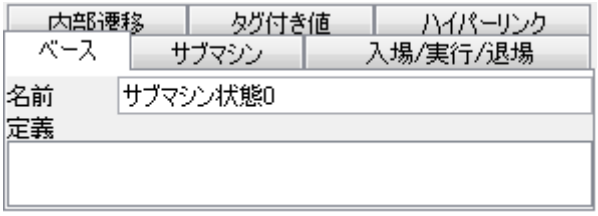
12.プロパティビュー



注）[タグ付き値]タブは、クラス図のプロパティをご覧ください。

12.27.　サブマシン状態のプロパティ

1)　[ベース]タブ



要素	概要
名前	サブマシン状態名を表示します。
定義	定義を表示します。

2)　[サブマシン]タブ

要素	概要
サブマシン名	サブマシン名を表示します。
状態マシン名	参照するステートマシン図を、コンボボックスから選択します。
プロパティ	ベースとなるステートマシン図のプロパティを開きます。

3)　[入場/実行/退場]タブ

⇒ 状態のプロパティー[入場/実行/退場]タブをご覧ください。

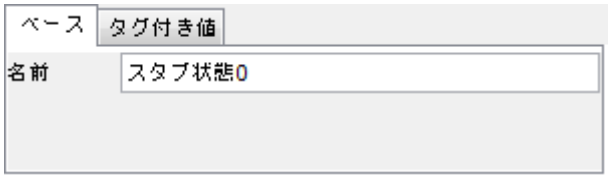
4) [内部遷移]タブ

⇒ 状態のプロパティー[内部遷移]タブをご覧ください。

注) [タグ付き値]、[ハイパーリンク]タブは、クラス図のプロパティをご覧ください。

12.28. スタブ状態のプロパティ

1) [ベース]タブ

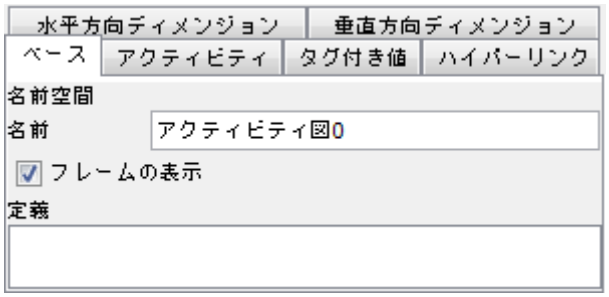


要素	概要
名前	スタブ状態名を表示します。

注) [タグ付き値]タブは、クラス図のプロパティをご覧ください。

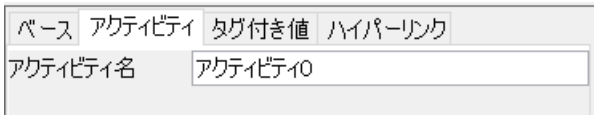
12.29. アクティビティ図のプロパティ

1) [ベース]タブ



要素	概要
名前空間	名前空間を表示します。
名前	アクティビティ図の名前を表示します。
フレームの表示	ダイアグラムエディタ上のフレーム表示を ON/OFF します。
定義	定義を表示します。

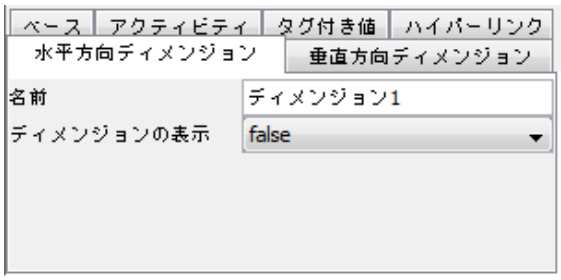
2) [アクティビティ]タブ

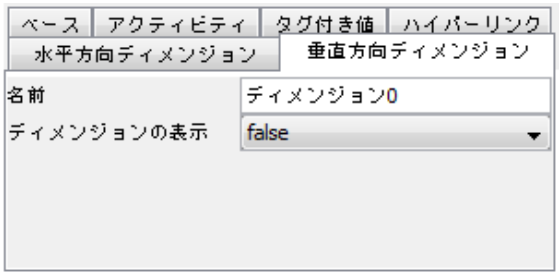


12.プロパティビュー

要素	概要
アクティビティ名	アクティビティ名を表示します。

3) [水平方向ディメンジョン] / [垂直方向ディメンジョン]タブ



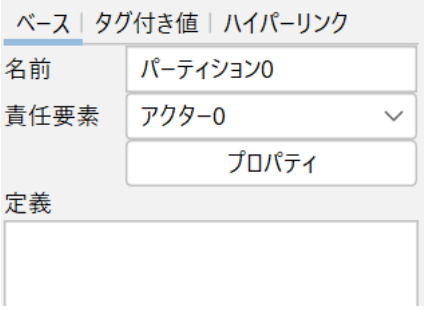


要素	概要
名前	ディメンジョンの名前を表示します。
ディメンジョンの表示	ディメンジョンの表示/非表示を指定します。

注) [タグ付き値]、[ハイパーリンク]タブは、クラス図のプロパティをご覧ください。

12.30. パーティションのプロパティ

1) [ベース]タブ



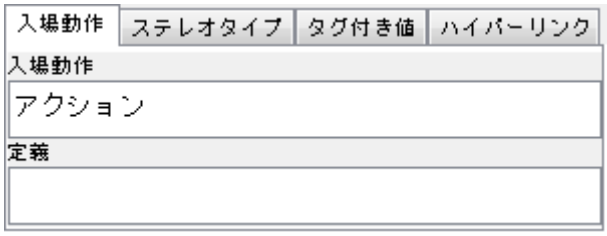
要素	概要
名前	パーティションの名前を表示します。
責任要素	責任を担う要素を表示します。
定義	定義を表示します。

注) [タグ付き値]、[ハイパーリンク]タブは、クラス図のプロパティをご覧ください。

12.31. アクションのプロパティ

1) [入場動作]タブ

12.プロパティビュー

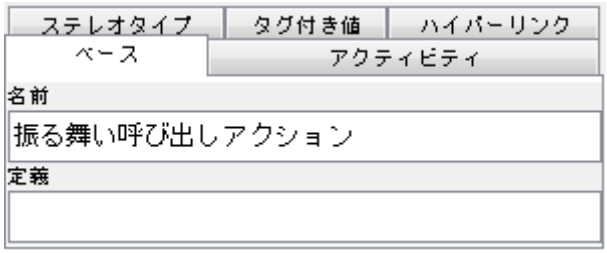


要素	概要
入場動作	アクション名を表示します。
定義	定義を表示します。

注）[ステレオタイプ]タブは、クラスのプロパティを、[タグ付き値]、[ハイパーリンク]タブはクラス図のプロパティをご覧ください。

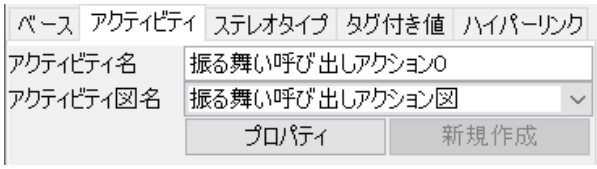
12.32.　振る舞い呼び出しアクションのプロパティ

1)　[ベース]タブ



要素	概要
名前	振る舞い呼び出しアクション名を表示します。
定義	定義を表示します。

2)　[アクティビティ]タブ



要素	概要
アクティビティ名	アクティビティ名を表示します。
アクティビティ図名	参照するアクティビティ図をコンボボックスから選択します。
プロパティ	ベースとなるアクティビティ図のプロパティを開きます。

注）[ステレオタイプ]タブは、クラスのプロパティを、[タグ付き値]、[ハイパーリン

12.プロパティビュー

ク]タブはクラス図のプロパティをご覧ください。

12.33. フロー終了ノードのプロパティ

アクションのプロパティをご覧ください。

12.34. シグナル送信アクションのプロパティ

アクションのプロパティをご覧ください。

12.35. イベント受信アクションのプロパティ

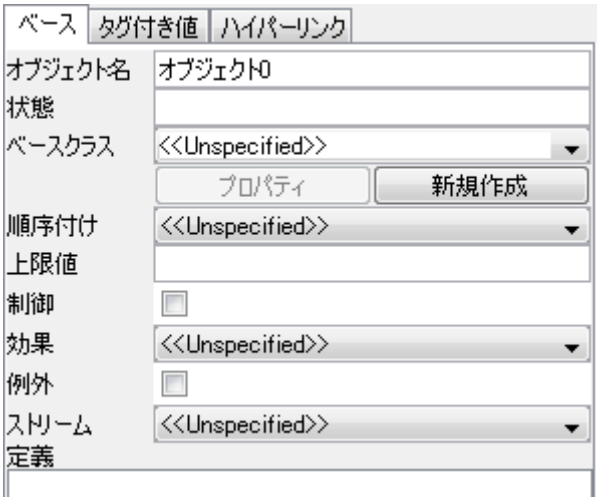
アクションのプロパティをご覧ください。

12.36. 時間イベント受理アクションのプロパティ

アクションのプロパティをご覧ください。

12.37. ピン、オブジェクトノードのプロパティ

1) [ベース]タブ



要素	概要
オブジェクト名	オブジェクト名を表示します。
状態	状態名を表示します。
ベースクラス	オブジェクトのベースクラスを表示します。
順序付け	順序付けを表示します。<<Unspecified>>, unordered, ordered, LIFO, FIFO から表示します。

12.プロパティビュー

上限値	上限値を表示します。
制御	制御かどうかを表示します。
効果	効果を表示します。<<Unspecified>>, create, read, update, delete から表示します。
例外	例外かどうかを表示します。
ストリーム	ストリームを表示します。<<Unspecified>>, stream, nonstream から表示します。
定義	定義を表示します。

注) [タグ付き値]、[ハイパーリンク]タブは、クラス図のプロパティをご覧ください。

12.プロパティビュー

12.38.　プロセスのプロパティ

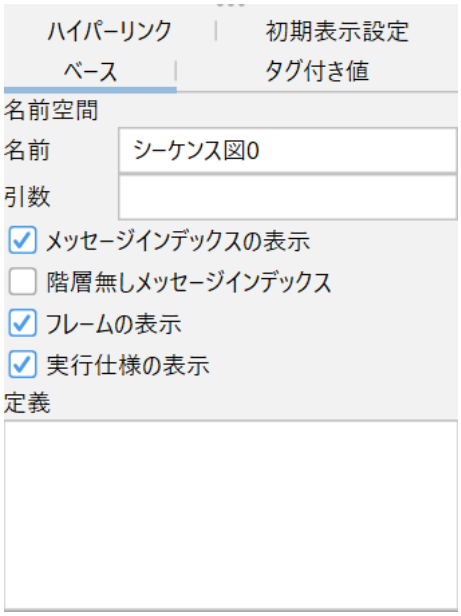
⇒　アクションのプロパティ　をご覧ください。

12.39.　コネクタのプロパティ

⇒　アクションのプロパティ　をご覧ください。

12.40.　シーケンス図のプロパティ

1)　[ベース]タブ



要素	概要
名前空間	名前空間を表示します。
名前	シーケンス図の名前を表示します。
引数	シーケンス図の引数を表示します。
定義	定義を表示します。

注）[タグ付き値]、[ハイパーリンク]タブは、クラス図のプロパティをご覧ください。

12.41.　ライフライン（シーケンス図/コミュニケーション図/タイミング図）のプロパティ

1)　[ベース]タブ

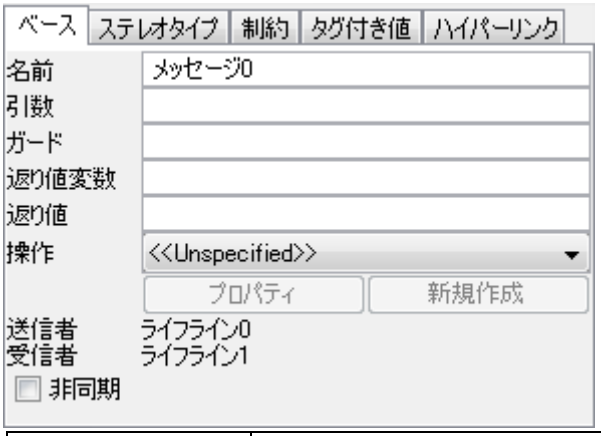
12.プロパティビュー

要素	概要
名前	ライフライン名を表示します。
ベースクラス	ベースクラスを表示します。
プロパティ	ベースクラスのプロパティを開きます。

注）[タグ付き値]、[ハイパーリンク]タブは、クラス図のプロパティをご覧ください。

12.42. メッセージ（シーケンス図/タイミング図）のプロパティ

1) [ベース]タブ



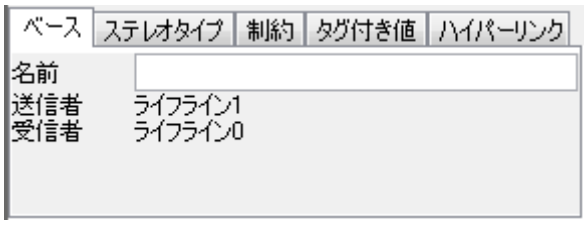
要素	概要
名前	メッセージ名を表示します。
引数	メッセージの引数を表示します。
ガード	ガード条件を表示します。
返り値変数	返り値変数を表示します。
返り値	返り値を表示します。
操作	操作を表示します。
プロパティ	操作のプロパティのダイアログボックスを開きます。
送信者	送信ライフラインを表示します。
受信者	受信ライフライン表示します。

非同期	メッセージの同期／非同期を表示します。

注）[ステレオタイプ]、[制約]タブは、クラスのプロパティを、[タグ付き値]、[ハイパーリンク]タブは、クラス図のプロパティをご覧ください。

12.43. リプライメッセージのプロパティ

1) [ベース]タブ

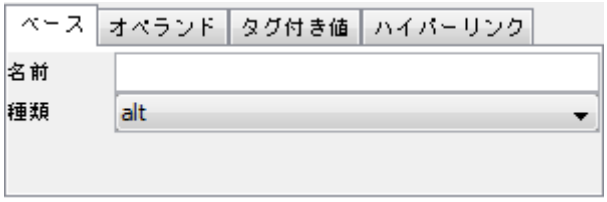


要素	概要
名前	メッセージ名を表示します。
送信者	送信ライフラインを表示します。
受信者	受信ライフラインを表示します。

注）[ステレオタイプ]、[制約]タブは、クラスのプロパティを、[タグ付き値]、[ハイパーリンク]タブは、クラス図のプロパティをご覧ください。

12.44. 複合フラグメントのプロパティ

1) [ベース]タブ



要素	概要
名前	複合フラグメント名を表示します。
種類	複合フラグメントの種類を表示します。

2) [オペランド]タブ

12.プロパティビュー

要素	概要
名前	オペランド名を表示します。
ガード	ガードを表示します。

注）[タグ付き値]、[ハイパーリンク]タブは、クラス図のプロパティをご覧ください。

12.45. 相互作用の利用のプロパティ

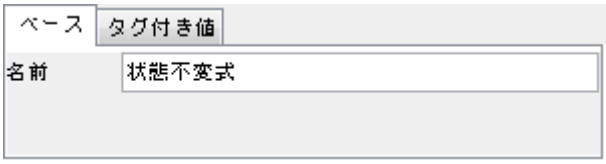
1) [ベース]タブ

要素	概要
名前	相互作用の利用名を表示します。
引数	相互作用の利用の引数を表示します。
参照先	参照するシーケンス図を表示します。
プロパティ	参照するシーケンス図を表示します。

注）[タグ付き値]タブは、クラス図のプロパティをご覧ください。

12.46. 状態不変式のプロパティ

1) [ベース]タブ



要素	概要

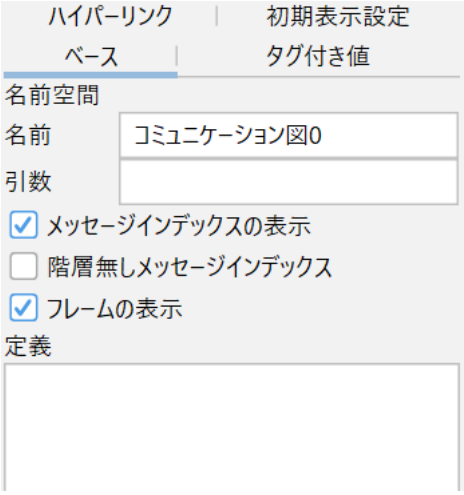
12.プロパティビュー

名前	状態不変式名を表示します。

注）[タグ付き値]タブは、クラス図のプロパティをご覧ください。

12.47. コミュニケーション図のプロパティ

1) [ベース]タブ

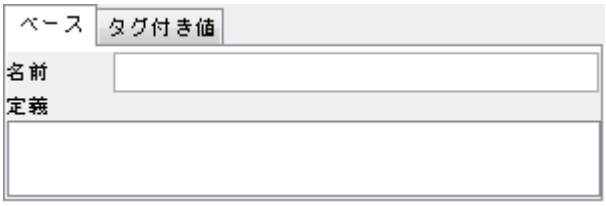


要素	概要
名前空間	名前空間を表示します。
名前	コミュニケーション図の名前を表示します。
引数	コミュニケーション図の引数を表示します。
定義	定義を表示します。

注）[タグ付き値]、[ハイパーリンク]タブは、クラス図のプロパティをご覧ください。

12.48. リンク（コミュニケーション図）のプロパティ

1) [ベース]タブ



要素	概要
名前	リンク名を表示します。

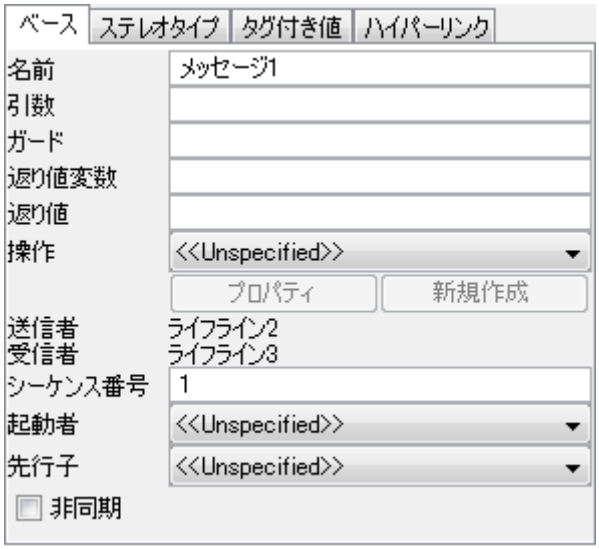
12.プロパティビュー

定義	リンクの定義を表示します。

注）[タグ付き値]タブは、クラス図のプロパティをご覧ください。

12.49. メッセージ（コミュニケーション図）のプロパティ

1) [ベース]タブ



要素	概要
名前	メッセージ名を表示します。
引数	引数を表示します。
ガード	ガード条件を表示します。
返り値変数	返り値変数を表示します。
返り値	返り値を表示します。
操作	操作を表示します。
プロパティ	操作のプロパティのダイアログボックスを開きます。
送信者	送信ライフラインを表示します。
受信者	受信ライフラインを表示します。
シーケンス番号	シーケンス番号を表示します。
起動者	起動者を表示します。
先行子	先行子を表示します。
非同期	メッセージの同期／非同期を表示します。

注）[ステレオタイプ]タブは、クラスのプロパティを、[タグ付き値]、[ハイパーリンク]タブはクラス図のプロパティをご覧ください。

12.プロパティビュー

12.50.　タイミング図のプロパティ

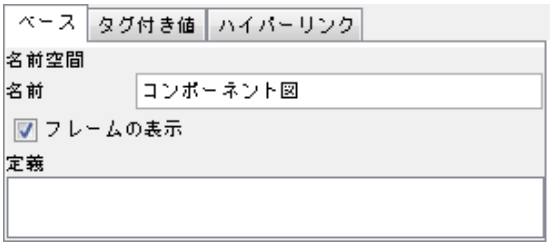
1)　[ベース]タブ

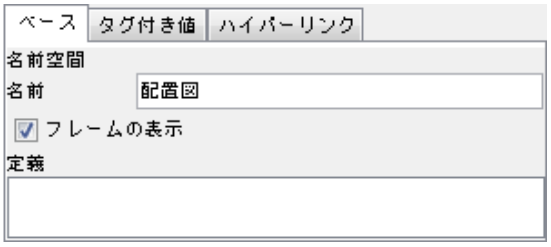
要素	概要
名前空間	名前空間を表示します。
名前	タイミング図の名前を表示します。
引数	タイミング図の引数を表示します。
目盛り幅	時間目盛りの表示幅を表示します。
目盛り値間隔	時間目盛りの値の間隔を表示します。
目盛り値表示間隔	時間目盛りに値を表示する間隔を表示します。
単位	時間目盛りの単位の表示・非表示を表示します。
定義	定義を表示します。

注）[タグ付き値]、[ハイパーリンク]タブは、クラス図のプロパティをご覧ください。

12.51.　コンポーネント図／配置図のプロパティ

1)　[ベース]タブ





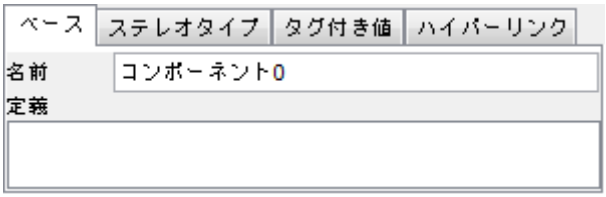
12.プロパティビュー

要素	概要
名前空間	名前空間を表示します。
名前	名前を表示します。
定義	定義を表示します。

注）[タグ付き値]、[ハイパーリンク]タブは、クラス図のプロパティをご覧ください。

12.52. コンポーネントのプロパティ

1) [ベース]タブ



要素	概要
名前	名前を表示します。
定義	定義を表示します。

注）[ステレオタイプ]タブは、クラスのプロパティを、[タグ付き値]、[ハイパーリンク]タブはクラス図のプロパティをご覧ください。

12.53. パートのプロパティ

⇒ 関連のプロパティをご覧ください。

12.54. コネクタのプロパティ

1) [ベース]タブ

要素	概要

12.プロパティビュー

名前	コネクタの名前を表示します。
型	コネクタの型を表示します。
プロパティ	コネクタの型のプロパティを開きます。
定義	コネクタの定義を表示します。

2)　[関連端]タブ

⇒　[関連端]タブ　をご覧ください。

3)　[関連端 制約]タブ

関連のターゲット（始点と終点）について、それぞれの[関連端制約]タブがあります。

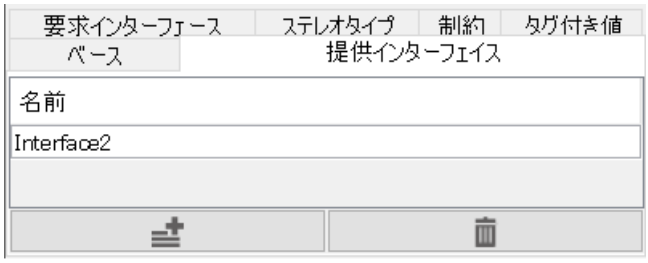
注) [タグ付き値]タブは、クラス図のプロパティを、[制約]タブは、クラスのプロパティをご覧ください。

12.55.　ポートのプロパティ

1)　[ベース]タブ

要素	概要
名前	ポート名を表示します。
可視性	可視性を表示します。
サービス	サービスかどうかを表示します。
振る舞い	振る舞いかどうかを表示します。
多重度	多重度を表示します。
型	型を表示します。
プロパティ	ベースクラスのプロパティを開きます。
タイプ修飾子	タイプ修飾子を表示します。(EX)*,**,&

2)　[提供インタフェース]タブ / [要求インタフェース]タブ



要素	概要
名前	提供/要求インタフェース名を表示します。

注) [ステレオタイプ]、[制約]タブは、クラスのプロパティを、[タグ付き値]タブは、クラス図のプロパティをご覧ください。

12.56.　使用依存のプロパティ

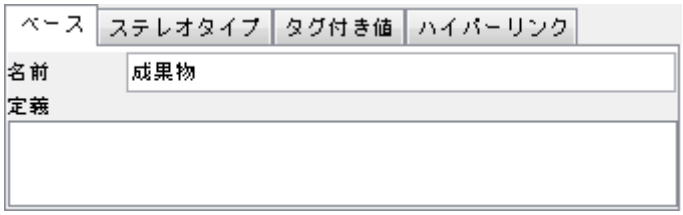
⇒　汎化のプロパティ　をご覧ください。

12.57.　分類子のプロパティ

コンポーネント図の分類子はクラスです。⇒　クラスのプロパティをご覧ください。

12.58.　成果物のプロパティ

1)　[ベース]タブ



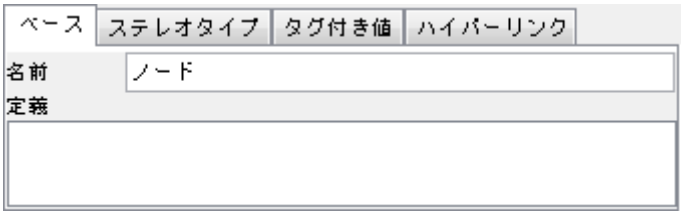
要素	概要
名前	成果物名を表示します。
定義	定義を表示します。

注) [ステレオタイプ]タブは、クラスのプロパティを、[タグ付き値]、[ハイパーリンク]タブはクラス図のプロパティをご覧ください。

12.プロパティビュー

12.59. ノードのプロパティ

1) [ベース]タブ

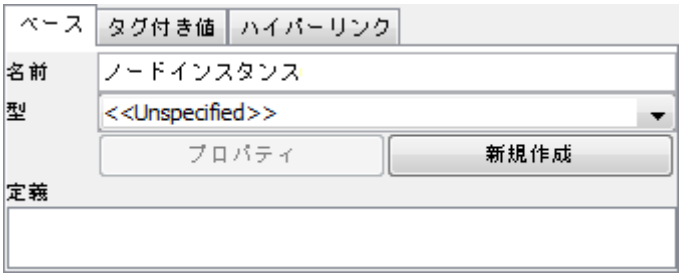


要素	概要
名前	ノード名を表示します。
定義	定義を表示します。

注) [ステレオタイプ]タブは、クラスのプロパティを、[タグ付き値]、[ハイパーリンク]タブはクラス図のプロパティをご覧ください。

12.60. ノードインスタンスのプロパティ

1) [ベース]タブ



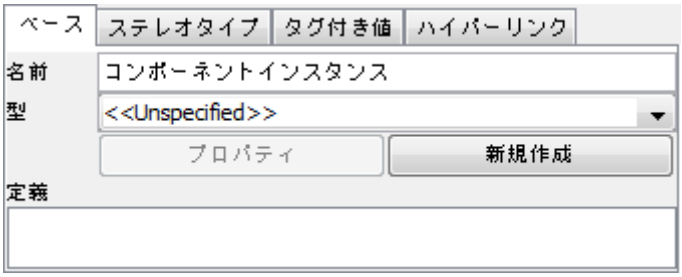
要素	概要
名前	ノードインスタンス名を表示します。
型	ノードの型を選択します。
プロパティ	ノードの型として指定されているノードのプロパティを開きます。
定義	定義を表示します。

注) [タグ付き値]、[ハイパーリンク]タブは、クラス図のプロパティをご覧ください。

12.プロパティビュー

12.61.　コンポーネントインスタンスのプロパティ

1)　[ベース]タブ



要素	概要
名前	コンポーネントインスタンス名を表示します。
型	コンポーネントの型を選択します。
プロパティ	コンポーネントの型として指定されたコンポーネントのプロパティを開きます。
定義	定義を表示します。

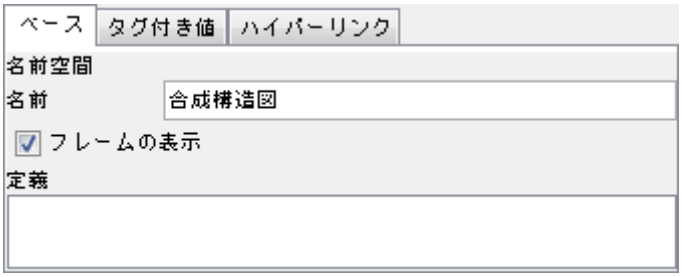
注）[ステレオタイプ]タブは、クラスのプロパティを、[タグ付き値]、[ハイパーリンク]タブはクラス図のプロパティをご覧ください。

12.62.　リンク（配置図）のプロパティ

⇒　リンクのプロパティをご覧ください。

12.63.　合成構造図のプロパティ

1)　[ベース]タブ



要素	概要
名前空間	名前空間を表示します。
名前	名前を表示します。
定義	定義を表示します。

12.プロパティビュー

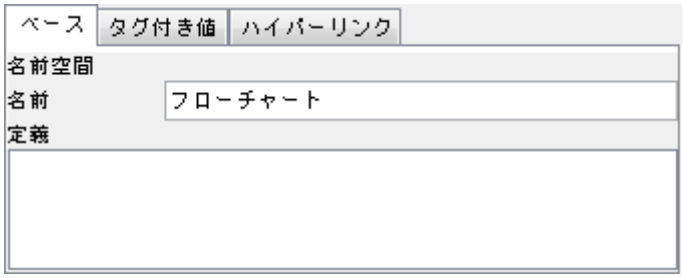
注）[タグ付き値]、[ハイパーリンク]タブは、クラス図のプロパティをご覧ください。

12.64.　構造化クラスのプロパティ

構造化クラスのプロパティはクラスと同等です。
⇒　クラスのプロパティ　をご覧ください。

12.65.　フローチャートのプロパティ

1)　[ベース]タブ

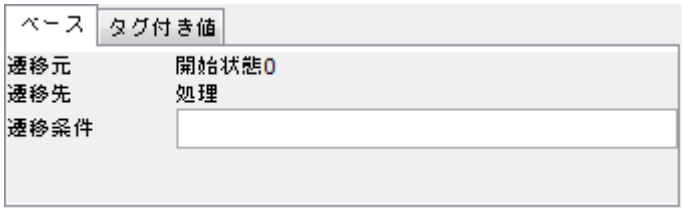


要素	概要
名前空間	名前空間を表示します。
名前	名前を表示します。
定義	定義を表示します。

注）[タグ付き値]、[ハイパーリンク]タブは、クラス図のプロパティをご覧ください。

12.66.　遷移（フローチャート）のプロパティ

1)　[ベース]タブ



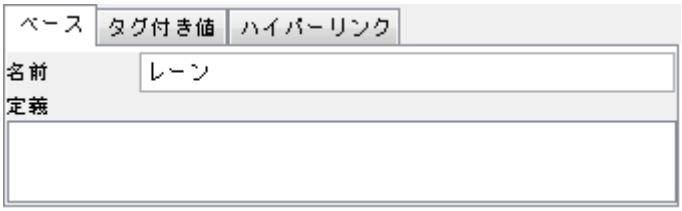
要素	概要
遷移元	遷移元を表示します。
遷移先	遷移先を表示します。
遷移条件	遷移条件を表示します。表示した遷移条件は図上に表示されます。

注）[タグ付き値]タブは、クラス図のプロパティをご覧ください。

12.プロパティビュー

12.67.　レーンのプロパティ

1)　[ベース]タブ

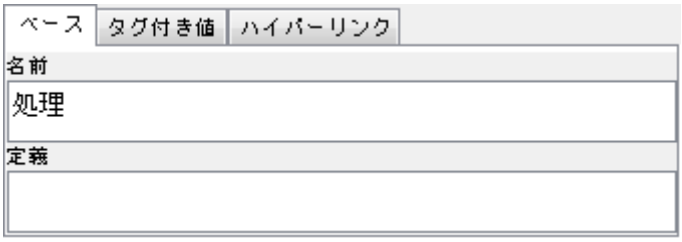


要素	概要
名前	名前を表示します。
定義	定義を表示します。

注）[タグ付き値]、[ハイパーリンク]タブは、クラス図のプロパティをご覧ください。

12.68.　フロー記号（処理など）のプロパティ

1)　[ベース]タブ

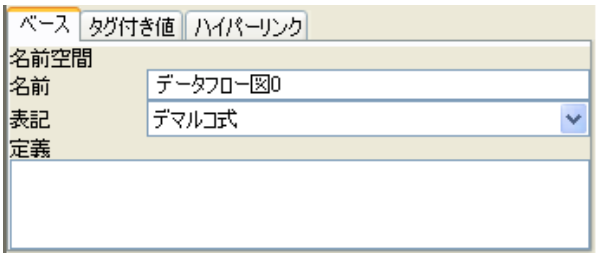


要素	概要
名前	名前を表示します。
定義	定義を表示します。

注）[タグ付き値]、[ハイパーリンク]タブは、クラス図のプロパティをご覧ください。

12.69.　データフロー図（DFD）のプロパティ

1)　[ベース]タブ



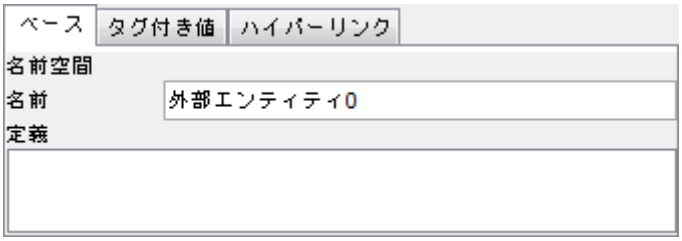
12.プロパティビュー

要素	概要
名前空間	名前空間を表示します。
名前	データフロー図の名前を表示します。
表記	データフロー図の表記法についてデマルコ式、ゲイン/サーソン式のいずれかから表示します。
定義	定義を表示します。

注）[タグ付き値]、[ハイパーリンク]タブは、クラス図のプロパティをご覧ください。

12.70. 外部エンティティのプロパティ

1）[ベース]タブ



要素	概要
名前空間	名前空間を表示します。
名前	名前を表示します。
定義	定義を表示します。

注）[タグ付き値]、[ハイパーリンク]タブは、クラス図のプロパティをご覧ください。

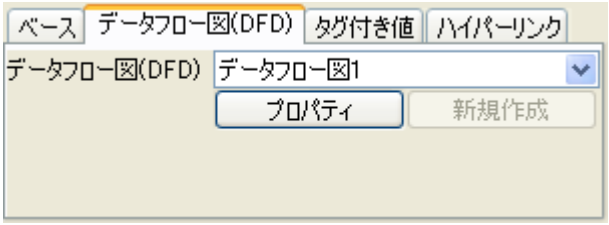
12.71. プロセスのプロパティ（データフロー図）

1） [ベース]タブ

要素	概要
ID	プロセスの ID を表示します。

名前	プロセスの名前を表示します。
担当	プロセスの担当を表示します。
定義	定義を表示します。

2) [データフロー図（DFD）]タブ

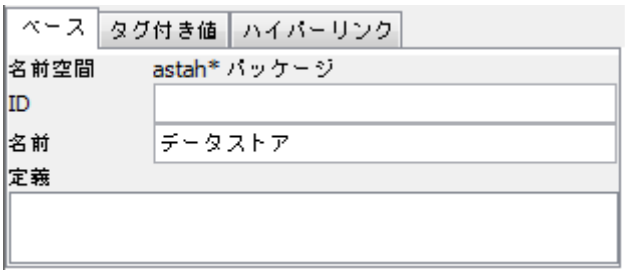


要素	概要
データフロー図(DFD)	参照するデータフロー図を表示します。
プロパティ	ベースとなるデータフロー図のプロパティを開きます。

注）[タグ付き値]、[ハイパーリンク]タブは、クラス図のプロパティをご覧ください。

12.72. データストアのプロパティ

1) [ベース]タブ



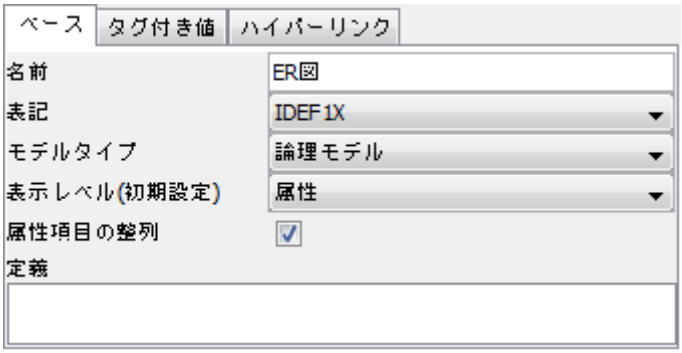
要素	概要
名前空間	データストアの名前空間を表示します。
ID	データストアの ID を表示します。
名前	データストアの名前を表示します。
定義	定義を表示します。

注）[タグ付き値]、[ハイパーリンク]タブは、クラス図のプロパティをご覧ください。

12.73. ER 図のプロパティ

2) [ベース]タブ

12.プロパティビュー

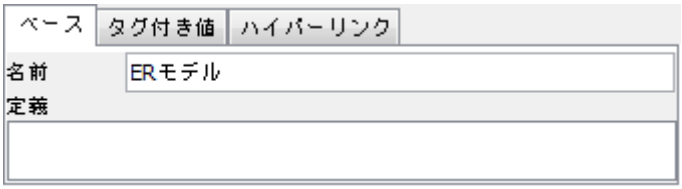


要素	概要
名前	ER 図の名前を表示します。
表記	ER 図の表記法を表示します。
モデルタイプ	モデルタイプを表示します。
表示レベル	ER 図の表示レベルを表示します。
属性項目の整列	ER 図の属性項目の表記を整列の有無を表示します。
定義	定義を表示します。

注）[タグ付き値]、[ハイパーリンク]タブは、クラス図のプロパティをご覧ください。

12.74. ER モデルのプロパティ

1）[ベース]タブ



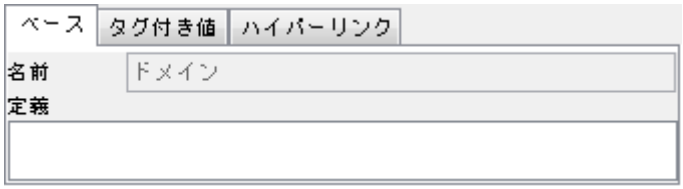
要素	概要
名前	ER モデルの名前を表示します。
定義	定義を表示します。

注）[タグ付き値]、[ハイパーリンク]タブは、クラス図のプロパティをご覧ください。

12.75. ドメインモデルのプロパティ

1）[ベース]タブ

12.プロパティビュー



要素	概要
名前	ドメインモデルの名前を表示します。
定義	定義を表示します。

注）[タグ付き値]、[ハイパーリンク]タブは、クラス図のプロパティをご覧ください。

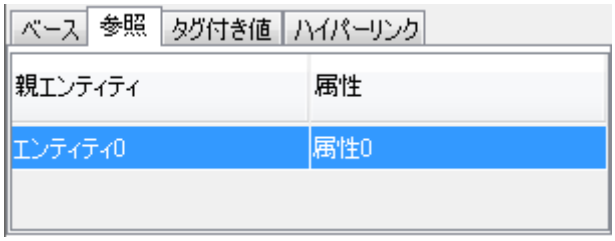
12.76. ドメインのプロパティ

1) [ベース]タブ

要素	概要
論理名	論理名を表示します。
物理名	物理名を表示します。
データ型	データ型をコンボボックスから表示します。
長さ/精度	長さと精度の値を表示します。
初期値	初期値を表示します。
NOT NULL	NOT NULL かどうかを表示します。
定義	定義を表示します。

2) [参照]タブ

12.プロパティビュー



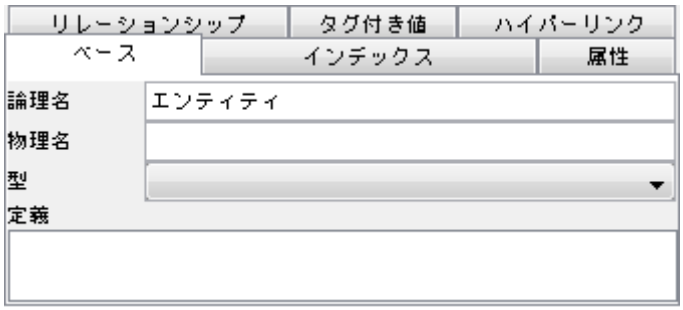
要素	概要
親エンティティ	ドメインを使用している属性の親エンティティを表示します。
属性	ドメインを使用している属性名を表示します。

注）明細のポップアップメニューから[図要素へジャンプ]、または、[構造ツリー上のモデルへジャンプ]します。

注）[タグ付き値]、[ハイパーリンク]タブは、クラス図のプロパティをご覧ください。

12.77. エンティティのプロパティ

1) [ベース]タブ



要素	概要
論理名	論理名を表示します。
物理名	物理名を表示します。
型	型をコンボボックスで、[](未指定)、[リソース]、[イベント]、 [サマリー]から表示します。
定義	定義を表示します。

2) [インデックス]タブ

12. プロパティビュー

要素	概要
名前	インデックス名を表示します。
種類	インデックスの種類を表示します。
表示ボタン	インデックスを表示します。

3) [属性]タブ

要素	概要
主キー	主キーかどうかを表示します。
論理名	論理名を表示します。
物理名	物理名を表示します。
ドメイン	ドメインを表示します。
型	型を表示します。
長さ/精度	長さ/精度の値を表示します。
表示ボタン	選択された属性のプロパティを開きます。

4) [リレーションシップ]タブ

要素	概要
名前	リレーションシップの名前を表示します。
子エンティティ・親エンティティ	リレーションを持つ子エンティティ/親エンティティの名前を表示します。
型	リレーションシップの型を表示します。
キー	リレーション関係にあるエンティティが持つキーを表示します。

注）[タグ付き値]、[ハイパーリンク]タブは、クラス図のプロパティをご覧ください。

12.78. 属性のプロパティ（ER 図）

1) [ベース]タブ

要素	概要
論理名	論理名を表示します。
物理名	物理名を表示します。

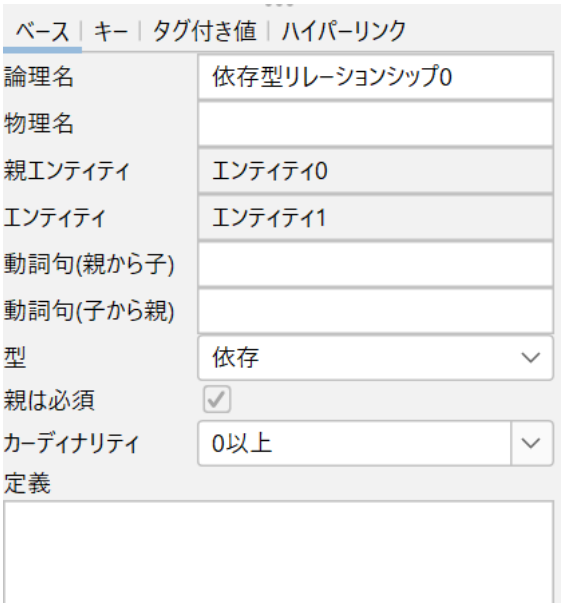
12.プロパティビュー

ドメイン	ドメインを表示します。
主キー	主キーかどうかを表示します。
NOT NULL	NOT NULL かどうかを表示します。
初期値	初期値を表示します。
データ型	データ型を表示します。
長さ/精度	長さと精度の値を表示します。
定義	定義を表示します。

注）[タグ付き値]、[ハイパーリンク]タブは、クラス図のプロパティをご覧ください。

12.79. リレーションシップのプロパティ（ER 図）

1) [ベース]タブ



要素	概要
論理名	論理名を表示します。
物理名	物理名を表示します。
親エンティティ	リレーションシップ関係にある親エンティティを表示します。
子エンティティ	リレーションシップ関係にある子エンティティを表示します。
動詞句（親から子）	親から子への動詞句を表示します。
動詞句（子から親）	子から親への動詞句を表示します。
型	型を表示します。
親は必須	非依存型リレーションシップの場合、親が必須かどうかを表示します。

12.プロパティビュー

カーディナリティ	カーディナリティを表示します。
定義	定義を表示します。

2) [キー]タブ

要素	概要
種類	キーの種類として PK、一意のインデックスのいずれかを表示します。
親キー	親キーを表示します。
子キー	子キーを表示します。

注) [タグ付き値]、[ハイパーリンク]タブは、クラス図のプロパティをご覧ください。

12.80. ER サブタイプのプロパティ

1) [ベース]タブ

要素	概要
論理名	論理名を表示します。
物理名	物理名を表示します。
親エンティティ	親エンティティを表示します。
子エンティティ	子エンティティを表示します。
識別子属性	識別子属性を表示します。

12.プロパティビュー

確定	確定かどうかを表示します。
定義	定義を表示します。

注）[タグ付き値]、[ハイパーリンク]タブは、クラス図のプロパティをご覧ください。

12.81. CRUD のプロパティ

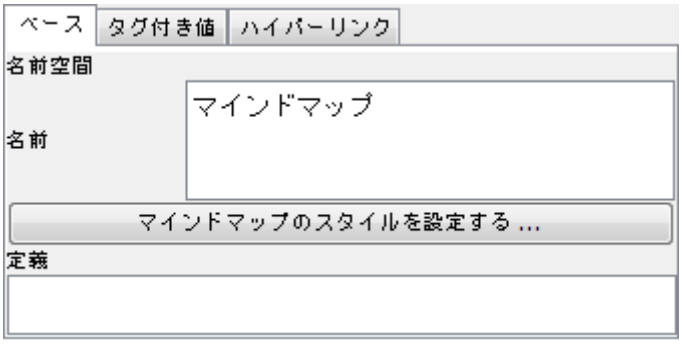
1) [ベース]タブ

要素	概要
名前空間	CRUD の名前空間を表示します。
名前	CRUD 名前を表示します。
定義	定義を表示します。

注）[タグ付き値]、[ハイパーリンク]タブは、クラス図のプロパティをご覧ください。

12.82. マインドマップのプロパティ

1) [ベース]タブ

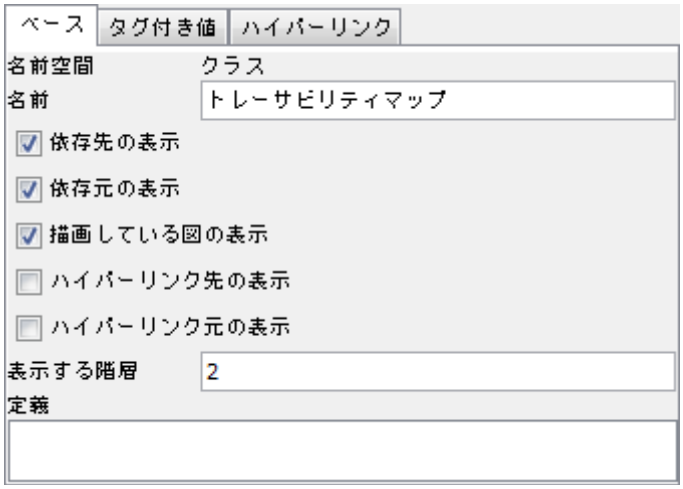


要素	概要
名前空間	名前空間を表示します。
名前	名前を表示します。
定義	定義を表示します。

注）[タグ付き値]、[ハイパーリンク]タブは、クラス図のプロパティをご覧ください。

12.83. トレーサビリティマップのプロパティ

1) [ベース]タブ



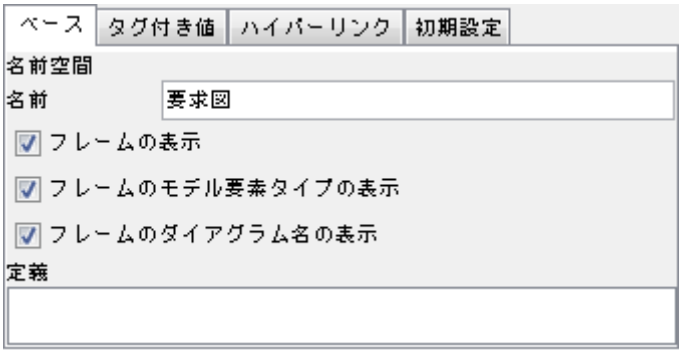
要素	概要
名前空間	名前空間を表示します。
名前	名前を表示します。
依存先の表示	依存先の表示・非表示を表示します。
依存元の表示	依存元の表示・非表示を表示します。
描画している図の表示	描画している図の表示・非表示を表示します。
ハイパーリンク先の表示	ハイパーリンク先の表示・非表示を表示します。
ハイパーリンク元の表示	ハイパーリンク元の表示・非表示を表示します。
表示する階層	表示する階層を表示します。
定義	定義を表示します。

注）[タグ付き値]、[ハイパーリンク]タブは、クラス図のプロパティをご覧ください。

12.プロパティビュー

12.84.　要求図のプロパティ

1）[ベース]タブ

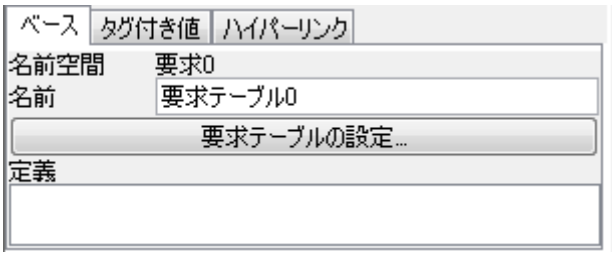


要素	概要
名前空間	名前空間を表示します。
名前	名前を表示します。
フレームの表示	図上のフレーム表示を ON/OFF を表示します。
フレームのモデル要素タイプの表示	図上フレームのモデル要素タイプの表示・非表示を表示します。
フレームのダイアグラム名の表示	図上フレームにおける図名の表示・非表示を表示します。
定義	定義を表示します。

注）[タグ付き値]、[ハイパーリンク]タブは、クラス図のプロパティをご覧ください。

12.85.　要求テーブルのプロパティ

1）　[ベース]タブ



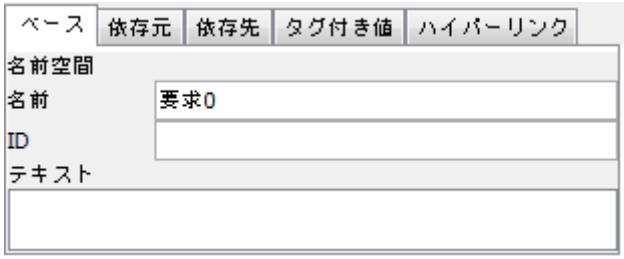
12.プロパティビュー

要素	概要
名前空間	名前空間を表示します。
名前	名前を表示します。
定義	定義を表示します。

注）[タグ付き値]、[ハイパーリンク]タブは、クラス図のプロパティをご覧ください。

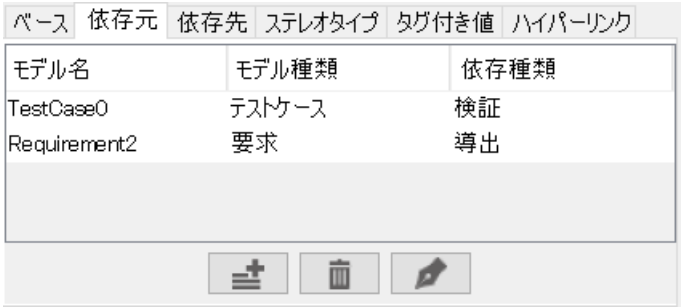
12.86. 要求のプロパティ

1) [ベース]タブ



要素	概要
名前空間	名前空間を表示します。
名前	名前を表示します。
ID	要求の ID を表示します。
テキスト	要求のテキストを表示します。

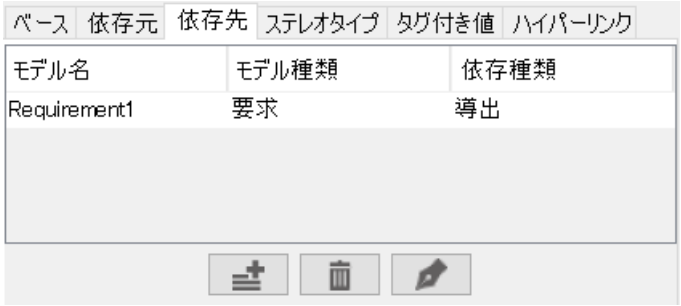
2) [依存元]タブ



要素	概要
モデル名	依存元の名前を表示します。
モデル種類	依存元のモデルの種類を表示します。

依存種類	依存の種類を表示します。

3) [依存先]タブ

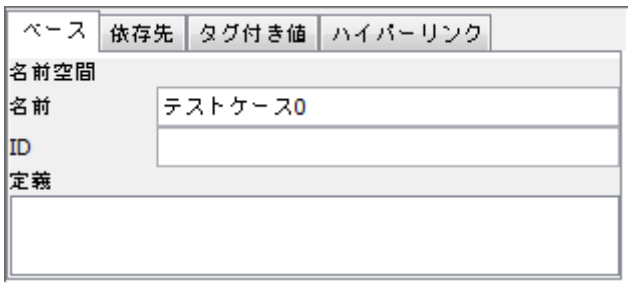


要素	概要
モデル名	依存先の名前を表示します。
モデル種類	依存先のモデルの種類を表示します。
依存種類	依存の種類を表示します。

注) [ステレオタイプ]、[タグ付き値]、[ハイパーリンク]タブは、クラス図のプロパティをご覧ください。

12.87. テストケースのプロパティ

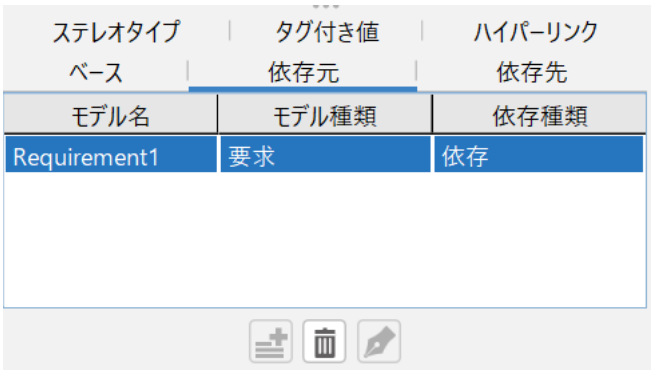
1) [ベース]タブ



要素	概要
名前空間	名前空間を表示します。
名前	名前を表示します。
ID	テストケースの ID を表示します。
定義	定義を表示します。

2) [依存元]タブ

12. プロパティビュー



要素	概要
モデル名	依存元の名前を表示します。
モデル種類	依存元のモデルの種類を表示します。
依存種類	依存の種類を表示します。
削除ボタン	選択された依存元を削除します。

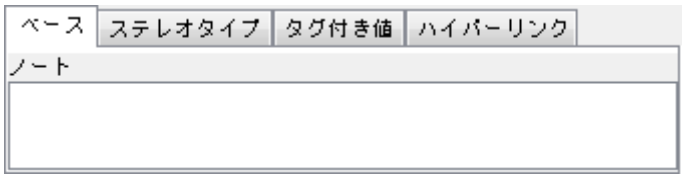
3) [依存先]タブ

要素	概要
モデル名	依存先の名前を表示します。
モデル種類	依存先のモデルの種類を表示します。
依存種類	依存の種類を表示します。
表示ボタン	依存先を表示します。

12.88. ノートのプロパティ

1) [ベース]タブ

12. プロパティビュー



要素	概要
ノート	ノートを表示します。

注) [ステレオタイプ]タブは、クラスのプロパティ、[タグ付き値]、[ハイパーリンク]タブはクラス図のプロパティをご覧ください。

13. 図の表示（ダイアグラムエディタ）

ここでは、図を表示するダイアグラムエディタについて説明します。

13.1. 図の表示

図を拡大する

ｉ）メニューバーの[表示]-[拡大する]をクリック　（Ctrl+]）
ⅱ）ツールバーの [表示を拡大する]をクリック
ⅲ）Ctrl キーとマウスを使う
　① Ctrl キーとマウスの右ボタンを押しながら上方向にドラッグします。
　② Ctrl キーを押しながらマウスホイールを前方に回転させます。

図を縮小する

ｉ）メニューバーの[表示]-[縮小する]をクリック（Ctrl+ [）
ⅱ）ツールバーの [表示を縮小する]をクリック
ⅲ）Ctrl キーとマウスを使う
　① Ctrl キーとマウスの右ボタンを押しながら下方向にドラッグします。
　② Ctrl キーを押しながらマウスホイールを後方に回転させます。

図を 1 倍表示にする

ｉ）メニューバーの[表示]-[標準の倍率にする]をクリック
ⅱ）ツールバーの [標準の倍率にする]をクリック

図を全体表示にする

[全体]		図の全体を表示します。
[横全体]		図の横全体を表示します。
[縦全体]		図の縦全体を表示します。

ｉ）メニューバーの[表示]-[全体表示]から表示方法を選択してクリック
ⅱ）ツールバーの [全体表示]から表示方法を選択してクリック
注）　図の拡大・縮小には、「プロジェクトビュー」の[マップ]を使います。

13.図の表示（ダイアグラムエディタ）

図の表示を移動させる

図の表示を移動させるには、マウスの右ボタンを押しながらマウスを動かします。

ｉ） 図を垂直に移動させる

マウスホイールを回転させます。マウスホイールを前方に回転させると上方向に移動し、後方に回転させると下方向に移動します。

ii） 図を水平に移動させる

Shift キーを押しながら、マウスホイールを回転させます。マウスホイールを前方に回転させると右方向に移動し、後方に回転させると左方向に移動します。

14. 図と図要素

各ダイアグラムと使用する図要素について説明します。

14.1. クラス図

クラス図には、クラス図の他に、オブジェクト図、パッケージ図、ロバストネス図もクラス図の一種として描画します。

クラス図の図要素

クラス		クラスを表します。
列挙型		列挙型を表します。
パッケージ		パッケージを表します。
サブシステム		サブシステムを表します。
ネスト		ネストを表します。
関連		関連（誘導可能性未定から誘導可能性未定）を表します。
関連		関連（誘導可能性未定から誘導可能）を表します。
関連		関連（誘導不可能から誘導可能）を表します。
関連		関連（誘導可能から誘導可能）を表します。
関連		集約（集約から誘導可能性未定）を表します。
関連		集約（集約から誘導可能）を表します。
関連		コンポジション（コンポジションから誘導可能性未定）を表します。
関連		コンポジション（コンポジションから誘導可能）を表します。
関連クラス		関連クラスを表します。
汎化		汎化を表します。

14.図と図要素

実現		実現を表します。
依存		依存を表します。
使用依存		使用依存を表します。
実現		実現を表します。
テンプレートバインディング		テンプレートバインディングを表します。
インタフェース		アイコン表記でインタフェースを表します。
インタフェース(標準)		標準表記でインタフェースを表します。
要求インタフェース		要求インタフェースを表します。
提供インタフェース		提供インタフェースを表します。
エンティティ		エンティティを表します。
ビジネスエンティティ		ビジネスエンティティを表します。
バウンダリ		バウンダリを表します。
コントロール		コントロールを表します。
ビジネスワーカー		ビジネスワーカーを表します。
インスタンス仕様		インスタンス仕様/Entity/BusinessEntity/Boundary/Control/BusinessWorker を表します。
リンク		リンクを表します。
		その他は「共通の図要素」をご覧ください。

14.2. ユースケース図

ユースケース図の図要素

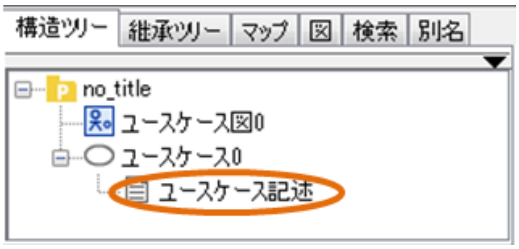
アクター		アクターを表します。
ビジネスアクター		ビジネスアクターを表します。
ユースケース		ユースケースを表します。
ビジネスユースケース		ビジネスユースケースを表します。
パッケージ		パッケージを表します。
サブシステム		サブシステムを表します。
ネスト		ネストを表します。
関連		関連（誘導可能性未定から誘導可能性未定）を表します。
関連		関連（誘導可能性未定から誘導可能）を表します。
関連		関連（誘導不可能から誘導可能）を表します。
関連		関連（誘導可能から誘導可能）を表します。
集約		集約（集約から誘導可能性未定）を表します。
集約		集約（集約から誘導可能）を表します。
コンポジション		コンポジション（コンポジションから誘導可能性未定）を表します。
コンポジション		コンポジション（コンポジションから誘導可能）を表します。
拡張		拡張（extend）を表します。
包含		包含（include）を表します。
汎化		汎化を表します。

14.図と図要素

依存		依存を表します。
テンプレートバインディング		テンプレートバインディングを表します。
エンティティ		エンティティを表します。
ビジネスエンティティ		ビジネスエンティティを表します。
バウンダリ		バウンダリを表します。
コントロール		コントロールを表します。
ビジネスワーカー		ビジネスワーカーを表します。
		その他は「共通の図要素」をご覧ください。

14.3. ユースケース記述

ユースケース記述を表示するビューです。ユースケース記述は構造ツリーのユースケースの配下に表示されます。



ユースケース記述を開く

ユースケース記述を開くには、[プロジェクトビュー]の[構造ツリー]から[ユースケース記述を開く]をクリックします。

ユースケース記述の項目

デフォルトのユースケース記述の項目は、次のようになります。

項目	概要	表示
ユースケース	ユースケース名を表示	自動表示
概要	概要を表示	可
アクター	関連するアクターや拡張ユースケースを表示	自動表示
事前条件	事前条件を表示	可

14.図と図要素

事後条件	事後条件を表示	可
基本系列	基本系列を表示	可
代替系列	代替系列を表示	可
例外系列	例外系列を表示	可
サブユースケース	包含するユースケースを表示	自動表示
備考	備考を表示	可

14.4. ステートマシン図

ステートマシン図の図要素

開始擬似状態		開始擬似状態を表します。
状態		状態を表します。
サブマシン状態		サブマシン状態を表します。
終了状態		終了状態を表します。
入場点		入場点を表します。
退場点		退場点を表します。
遷移		遷移を表します。
浅い履歴擬似状態		浅い履歴擬似状態を表します。
深い履歴擬似状態		深い履歴擬似状態を表します。
ジャンクション擬似状態		ジャンクション擬似状態を表します。
選択擬似状態		選択擬似状態を表します。
フォーク擬似状態（縦・横）		フォーク擬似状態を表します。右横の下矢印ボタンを押して縦横を選択します。
ジョイン擬似状態（縦・横）		ジョイン擬似状態を表します。右横の下矢印ボタンを押して縦横を選択します。
サブマシン状態のスタブ状態		サブマシン状態のスタブ状態を表します。
		その他は「共通の図要素」をご覧ください。

14.5. アクティビティ図

アクティビティ図の図要素

パーティション（縦）		縦のパーティションを表します。
パーティション（横）		横のパーティションを表します。
開始ノード		開始ノードを表します。
アクション		アクションを表します。
振る舞い呼び出しアクション		振る舞い呼び出しアクションを表します。
アクティビティ終了		アクティビティ終了を表します。
フロー終了ノード		フロー終了ノードを表します。
制御フロー・オブジェクトフロー		制御フロー・オブジェクトフローを表します。
デシジョンノード・マージノード		デシジョンノード・マージノードを表します。
フォークノード		フォークノードを表します。
ジョインノード		ジョインノードを表します。
表示ピン		表示ピンを表します。
出力ピン		出力ピンを表します。
オブジェクトノード		オブジェクトノードを表します。
パラメータノード		パラメータノードを表します。
シグナル送信アクション		シグナル送信アクションを表します。
イベント受信アクション		イベント受信アクションを表します。

時間イベント受理アクション		時間イベント受理アクションを表します。
プロセス		プロセスを表します。
コネクタ		コネクタを表します。
依存		依存を表します。
		その他は「共通の図要素」をご覧ください。

14.6. シーケンス図

シーケンス図の図要素

ライフライン		ライフライン、アクター、ビジネスアクター、Entity、BusinessEntity、Boundary、Control、BusinessWorker を表します。
メッセージ		同期メッセージを表します。
非同期メッセージ		非同期メッセージを表します。
Create メッセージ		Create メッセージを表します。
Destroy メッセージ		Destroy メッセージを表します。
Reply メッセージ		Reply メッセージを表します。
停止		停止を表します。
持続時間制約		持続時間制約を表します。
時間制約		時間制約を表します。
複合フラグメント		複合フラグメントを表します。
相互作用の利用		相互作用の利用を表します。
状態不変式		状態不変式を表します。
		その他は「共通の図要素」をご覧ください。

14.7. コミュニケーション図

コミュニケーション図の図要素

ライフライン		ライフライン、アクター、ビジネスアクター、Entity、BusinessEntity、Boundary、Control、BusinessWorker を表します。
リンク		リンクを表します。
メッセージ		メッセージを表します。
		その他は「共通の図要素」をご覧ください。

14.8. タイミング図

タイミング図の図要素

選択		ダイアグラムエディタ上の基本操作を実行するモードです。
ライフライン		ライフラインを表します。
メッセージ		同期メッセージを表します。
非同期メッセージ		非同期メッセージを表します。
Reply メッセージ		Reply メッセージを表します。
持続時間制約		持続時間制約を表します。
時間制約		時間制約を表します。
		その他は「共通の図要素」をご覧ください。

14.9. コンポーネント図

コンポーネント図の図要素

コンポーネント		コンポーネントを表します。

14.図と図要素

パート		パートを表します。
外部パート		外部パートを表します。
コネクタ		コネクタを表します。
ポート		ポートを表します。
インタフェース		アイコン表記でインタフェースを表します。
インタフェース(標準)		標準表記でインタフェースを表します。
提供インタフェース		提供インタフェースを表します。
要求インタフェース		要求インタフェースを表します。
依存		依存を表します。
実現		実現を表します。
使用依存		使用依存を表します。
分類子		分類子を表します。
成果物		成果物を表します。
ネスト		ネストを表します。
		その他は「共通の図要素」をご覧ください。

14.10. 配置図

配置図の図要素

ノード		ノードを表します。
ノードインスタンス		ノードインスタンスを表します。
コンポーネント		コンポーネントを表します。
コンポーネントインスタンス		コンポーネントインスタンスを表します。

関連		関連（誘導可能性未定から誘導可能性未定）を表します。
関連		関連（誘導可能性未定から誘導可能）を表します。
関連		関連（誘導不可能から誘導可能）を表します。
関連		関連（誘導可能から誘導可能）を表します。
関連		集約（集約から誘導可能性未定）を表します。
関連		集約（集約から誘導可能）を表します。
関連		コンポジション（コンポジションから誘導可能性未定）を表します。
関連		コンポジション（コンポジションから誘導可能）を表します。
実現		実現を表します。
インタフェース		アイコン表記でインタフェースを表します。
インタフェース(標準)		標準表記でインタフェースを表します。
依存		依存を表します。
インスタンス仕様		インスタンス仕様/Entity/BusinessEntity/Boundary/Control/BusinessWorker を表します。
リンク		リンクを表します。
		その他は「共通の図要素」をご覧ください。

14.11. 合成構造図

合成構造図の図要素

構造化クラス		構造化クラスを表します。
クラス		クラスを表します。
パート		パートを表します。

14.図と図要素

外部パート		外部パートを表します。
コネクタ		コネクタを表します。
ポート		ポートを表します。
インタフェース		アイコン表記でインタフェースを表します。
インタフェース(標準)		標準表記でインタフェースを表します。
提供インタフェース		提供インタフェースを表します。
要求インタフェース		要求インタフェースを表します。
関連		関連（誘導可能性未定から誘導可能性未定）を表します。
関連		関連（誘導可能性未定から誘導可能）を表します。
関連		関連（誘導不可能から誘導可能）を表します。
関連		関連（誘導可能から誘導可能）を表します。
関連		集約（集約から誘導可能性未定）を表します。
関連		集約（集約から誘導可能）を表します。
関連		コンポジション（コンポジションから誘導可能性未定）を表します。
関連		コンポジション（コンポジションから誘導可能）を表します。
汎化		汎化を表します。
依存		依存を表します。
テンプレート バインディング		テンプレートバインディングを表します。
実現		実現を表します。
使用依存		使用依存を表します。

14.図と図要素

ネスト		ネストを表します。
		その他は「共通の図要素」をご覧ください。

14.12.　フローチャート

フローチャートの図要素

遷移（実線）		遷移を実線で表します。（直線・矢印・両矢印）
遷移（破線）		遷移を破線で表します。（直線・矢印・両矢印）
遷移（破線）		遷移を破線で表します。（直線・矢印・両矢印）
遷移（線路）		遷移を線路で表します。
レーン（縦）		縦のレーンを表します。
レーン（横）		横のレーンを表します。
開始		開始を表します。
終了		終了を表します。
フロー終了ノード		フロー終了ノードを表します。
条件分岐		条件分岐を表します。
分岐		分岐を表します。
合流		合流を表します。
		その他は「共通の図要素」をご覧ください。

14.13. データフロー図（DFD）

データフロー図の図要素

外部エンティティ（デマルコ式/ゲイン・サーソン式）	/	外部エンティティを表します。
プロセス（デマルコ式/ゲイン・サーソン式）	/	プロセスを表します。
データストア（デマルコ式/ゲイン・サーソン式）	/	データストアを表します。
アンカー	■	アンカーを表します。
データフロー	/	データフローを表します。
データフロー（双方向）	/	双方向のデータフローを表します。
		その他は「共通の図要素」をご覧ください。

14.14. ER 図

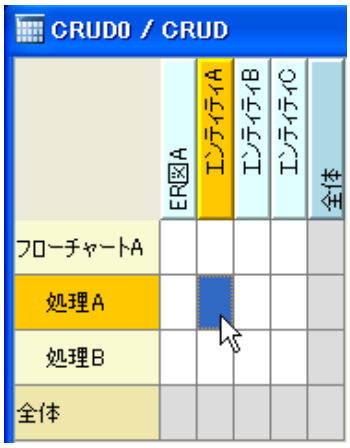
ER 図の図要素

エンティティ		エンティティを表します。
依存型リレーションシップ（IDF1X/IE）	/	依存型リレーションシップを表します。
非依存型リレーションシップ（IDF1X/IE）	/	非依存型リレーションシップを表します。
多対多型リレーションシップ（IDF1X/IE）	/	多対多型リレーションシップを表します。
サブタイプ（IDF1X/IE）	/	サブタイプを表します。
		その他は「共通の図要素」をご覧ください。

14.15. CRUD

CRUD を開く

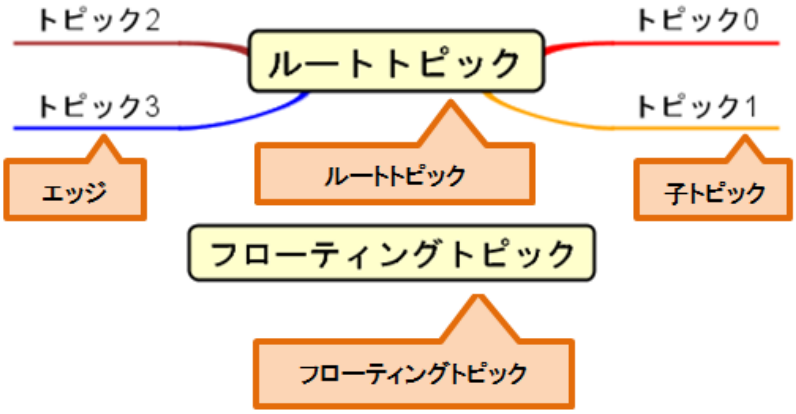
CRUD を開くには、[プロジェクトビュー]の CRUD をダブルクリックします。



14.16. マインドマップ

図要素

ここでは、マインドマップで使う図要素について説明します。



[マインドマップ]　マインドマップは、英国のトニー・ブザンにより開発された脳の思考方法とその視覚化手法です。自由でかつ印象的な記法によって、発想を縛ることなく広げることができます。

[ルートトピック]　マインドマップのテーマを記述する中心となるトピックです。

[子トピック]　親トピックを持つトピックです。

[エッジ]　トピックをつなぐ線です。

[フローティングトピック] ルートトピック（中心にあるトピック）から独立したトピックです。

14.図と図要素

マインドマップの図要素

トピック		トピックを表します。
フローティングトピック		フローティングトピックを表します。
トピック間リンク		トピック間のリンクを表します。
境界		境界を表します。
		その他は「共通の図要素」をご覧ください。

14.17. 要求図

要求図の図要素

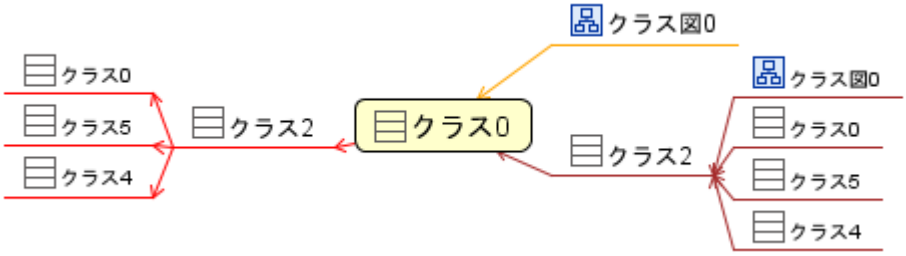
要求		要求を表します。
テストケース		テストケースを表します。
パッケージ		パッケージを表します。
ネスト		ネストを表します。
導出		導出を表します。
コピー		コピーを表します。
満足		満足を表します。
検証		検証を表します。
洗練		洗練を表します。
トレース		トレースを表します。
		その他は「共通の図要素」をご覧ください。

14.18. 要求テーブル

要求テーブルは、要求の ID、名前、テキストを一覧で表示するテーブルです。

14.19. トレーサビリティマップ

トレーサビリティマップは、モデル間の関係をマインドマップ形式で表します。



(1) トレーサビリティマップの対象となる要素

パッケージ、モデル、サブシステム、クラス、ユースケース、コンポーネント、成果物、ノード、外部エンティティ、データストア、ER エンティティ、要求、テストケース

(2) トレーサビリティマップで表示される関係

(A) 対象となる関係要素

関連、関連クラス、汎化、実現、依存、使用依存、テンプレートバインディング、拡張、包含、依存型リレーションシップ、非依存型リレーションシップ、多対多型リレーションシップ、サブタイプ

(B) 対象となる関係

・型参照
　(属性の型、操作の返り値、インスタンス仕様のベースクラス、ライフラインのベースクラス、オブジェクトノードのベースクラス、コンポーネントインスタンスのベースクラス、ノードインスタンスのベースクラス)
・要求、テストケースに追加された依存
・表示対象の要素が表示されている図

(3) 図を開く

トレーサビリティマップ上のトピックをダブルクリックします。

14.20. 共通の図要素

ここでは、各図に共通の図要素を説明します。

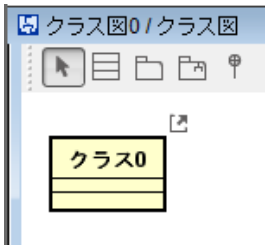
ノート		モデル要素などに対するコメントをつけます。
ノートから図要素へのアンカー		「ノート」と対象とするモデル要素を関連付けます。
テキスト/テキストボックス		図上にテキスト、テキストボックスを挿入します。
長方形		図上に長方形を表します。
角丸長方形		図上に角丸長方形を表します。
楕円		図上に楕円を表します。
直線		図上に直線を表します。
フリーハンド		図上にフリーハンドを表します。
蛍光ペン		図上に蛍光ペンを表します。

15. ハイパーリンク

15.1. ハイパーリンクを開く

ｉ）ハイパーリンクアイコンから開く方法

図上のハイパーリンクアイコンをダブルクリックします。



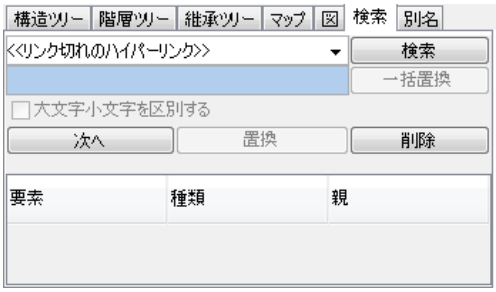
iii）プロパティビューから開く方法

モデルのプロパティの[ハイパーリンク]タブを開き、任意のハイパーリンクを選択して[リンク先を開く]をクリックします。

15.2. ハイパーリンクのリンク切れを検索する

ハイパーリンクのリンク切れをチェックします。検索対象はファイルへのハイパーリンクのみで、URL や図要素・モデルへのハイパーリンクは検索されません。また、この検索において、置換には対応していません。

① プロジェクトビューで[検索]タブを開きます



② コンボボックスの[リンク切れのハイパーリンク]を選択し[検索]ボタンを押します。

③ リンクの切れた要素と、ハイパーリンクを持つ図・要素がリストに表示されます。

注）ハイパーリンクが切れているファイルは、ファイル名の後に（リンク切れ）と表示され、リンクが切れている図要素や図は、「参照先なし」と表示されます。

16. キーバインドファイル

astah*が用意したキーバインドファイルを表示し、所定の配備先に置くことで astah*内のショートカットキーをカスタマイズできます。

[使い方]

1. astah*を終了させる。
2. インストールフォルダ配下の astah-key.properties_org をユーザー HOME\.astah\viewer 配下にコピーし astah-key.properties とリネームする。
3. astah-key.properties 内で変更したいショートカットキー(xxx.key)の# を削除し、キーの値を変更する。
4. astah-key.properties を保存し、astah*を起動する。

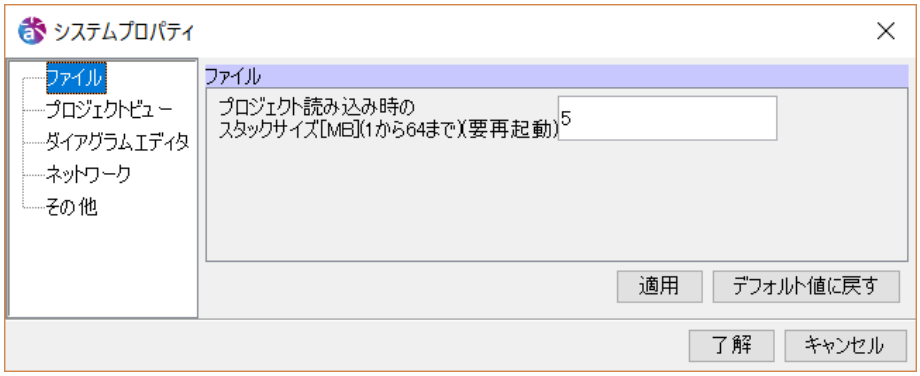
[注意]

1. キーが重複した際の動作は保証しませんので重複しないように表示してください。
2. 変更したいショートカットキー(xxx.key)のキーが同じ場合もあります。その場合はそのキーも変更 してください。
3. astah*を上書きインストールした場合は、astah-key.properties_org から差分を手動で追加してください。

17. システムプロパティ

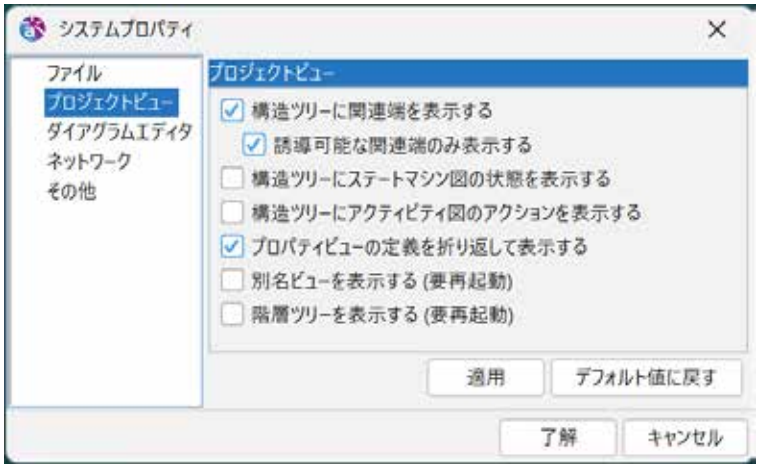
メニューバーの[ツール]-[システムプロパティ]から、システムプロパティを設定します。

17.1. ファイル



1) プロジェクト読み込み・書き込み時のスタックサイズ[MB](1 から 64 まで)(要再起動)
デフォルト[5MB]

17.2. プロジェクトビュー

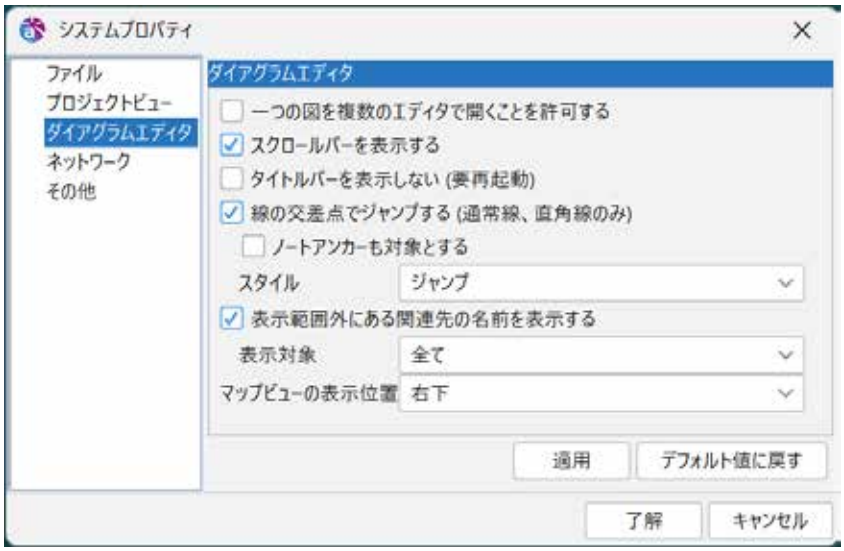


プロジェクトビューのプロパティを設定します。

1) 構造ツリーに関連端を表示する
デフォルト[ON]
誘導可能な関連端のみ表示する
デフォルト[ON]
2) 構造ツリーに関連端を表示する場合、誘導可能な関連端のみ表示する
デフォルト[ON]
3) 構造ツリーにステートマシン図の状態を表示する
デフォルト[OFF]

4) 構造ツリーにアクティビティ図のアクションを表示する
　デフォルト[OFF]
5) プロパティビューの定義を折り返して表示する
プロパティビューの定義を折り返して、複数行で表示します。
　デフォルト[ON]
6) 別名ビューを表示する（要再起動）
別名ビューの表示を ON/OFF と切り替えます。切り替え後は、astah*を再起動する必要があります。
　デフォルト[OFF]
7) 階層ツリーを表示する（要再起動）
階層ツリーの表示を ON/OFF と切り替えます。切り替え後は、astah*を再起動する必要があります。
　デフォルト[OFF]

17.3. ダイアグラムエディタ



図を描画するダイアグラムエディタのプロパティを設定します。
1) 一つの図を複数のエディタで開くことを許可する
一つの図を複数のエディタで開くことができるようにします。一つの図を複数のエディタで開いた場合、一方の図で行った操作は、他方の図にも反映されます。
　デフォルト[OFF]
2) スクロールバーを表示する
スクロールバーの表示を ON/OFF と切り替えます。
　デフォルト[ON]
3) タイトルバーを表示しない（要再起動）

17.システムプロパティ

ダイアグラムエディタのタイトルバーを隠します。適用には astah*の再起動が必要です。

デフォルト[OFF](Mac 版[ON])

4) 線の交差点でジャンプする

直線および直角線について、線が交差する箇所をジャンプするように描画します。

デフォルト[ON]

ノートアンカーを対象とする有無（デフォルト[OFF]）やジャンプのスタイル（デフォルト[ジャンプ]）について指定できます。

5) 表示範囲外にある関連先の名前を表示する

ダイアグラムエディタの表示範囲にある関連先の名前を表示します。デフォルト[ON]

表示対象：デフォルト[全て]

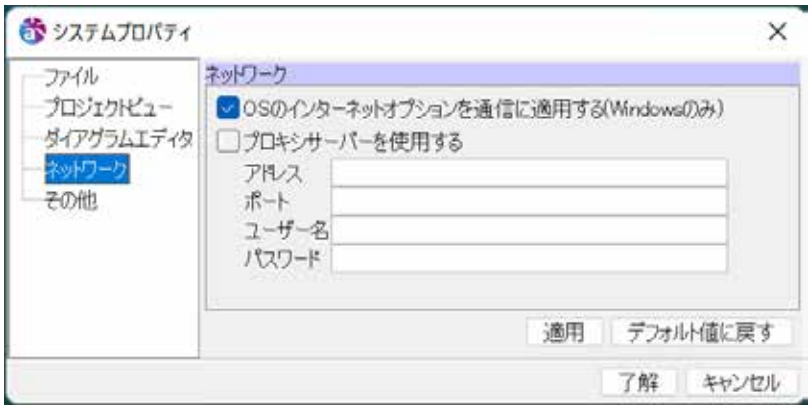
- 全て
  全ての関連先を表示します。
- 全て（未選択時のみ）
  全ての関連先を表示します。
  図要素が選択されていない時は表示しません。
- 選択図要素についてのみ
  選択した図要素の関連先のみ表示します。
  図要素が選択されていない時は表示しません。
- 選択図要素についてのみ(未選択時は全て)
  選択した図要素の関連先のみ表示します。
  図要素が選択されていない時は全ての関連先を表示します。

6) マップビューの表示位置

ダイアグラムエディタ上でマップビューを表示する位置を選択します。

デフォルト[右下]

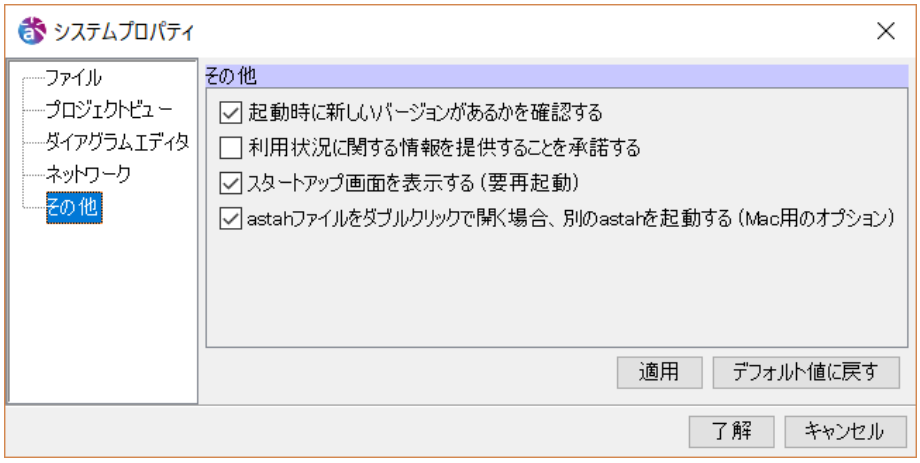
17.4. ネットワーク



17.システムプロパティ

1) OS のインターネットオプションを通信に適用する(Windows のみ)
デフォルト[ON]
2) プロキシサーバーを使用する
ソフトウェアの更新確認とノードカウントライセンスで指定したプロキシサーバーを使用します。
デフォルト[OFF
2)にチェックを付けた場合、3)～6)を表示します。
3) アドレス
デフォルト[無し]
4) ポート
デフォルト[無し]
5) ユーザー名
デフォルト[無し]
6) パスワード
デフォルト[無し]

17.5. その他



1) 起動時に新しいバージョンがあるかを確認する
デフォルト[ON]
2) 利用状況に関する情報を提供することを承諾する
ON にすると利用状況に関する情報を送信します。
デフォルト[OFF]
3) スタートアップ画面を表示する（要再起動）
ON にするとスタートアップ画面をご利用いただけます。
デフォルト[ON]

4) astah ファイルをダブルクリックで開く場合、別の astah を起動する（Mac 用）

Mac 限定のオプションです。ON にすると astah ファイルをダブルクリック時に別 astah で起動します。

デフォルト[ON]